

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-35, ②)[A-A' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-35	-	-	②	32.68	32.71	N15W		81E		無	-	-	-	非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	7	84W	15	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	23	84W	15	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	19	81W	18	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	19	72W	27	有	無	70R	N,LL	非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2	範囲内	⑤	143.67	143.77	N8E	23	87E	6	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191		
			①	71.21	71.24	N12E	27	76W	23	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	15	79W	20	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
	H19-No.6	範囲内	③	80.50	83.93	N9E	24	80W	19	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		
			①	73.43	73.45	N6E	21	82W	17	有	無	75R	-	D-38	参考2-116		
			②	167.53	168.54	N41W	26	69W	30	有	無	23R	-	f-6-2	参考2-127		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-35, ②)[A-A' 断面]

第657回審査会合  
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
				(m)	(m)												
H24-B8-35	-	-	②	32.68	32.71	N15W		81E		無	-	-	-	非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	7	84W	15	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	23	84W	15	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	19	81W	18	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	19	72W	27	有	無	70R	① N	非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2	範囲内	⑤	143.67	143.77	N8E	23	87E	6	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191		
			①	71.21	71.24	N12E	27	76W	23	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
	H19-No.6	範囲内	②	77.48	78.10	② NS	15	79W	20	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	24	80W	19	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		
			①	73.43	73.45	N6E	21	82W	17	有	無	75R	③ N	D-38	参考2-116		
			②	167.53	168.54	N41W	26	69W	30	有	無	23R	-	f-6-2	参考2-127		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

- 786(分類D)①  
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。
- 787(分類E)②  
起点破碎部と対比破碎部の連続性検討の結果, 手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが, 誤って着色し忘れた。
- 788(分類A)③  
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを, 本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部: H24-B8-35, ②)[B-B' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)								N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
H24-B8-35	-	-	②	32.68	32.71	N15W	-	81E	-	無	-	-	-	非モデル化	参考2-191			
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	47	80W	19	有	無	90	-	-	f-2-8	参考2-125		
			②	30.38	30.48	-	-	-	-	-	有	有	-	-	-	D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	32	77W	22	有	有	75L	-	-	-	f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	52	67W	32	有	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
			①	10.48	11.53	N4W	11	70W	29	有	有	50L	-	-	-	D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	50	62W	37	有	有	38L	-	-	-	f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	18	79W	20	有	有	2L	-	-	-	f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	8	73W	26	無	-	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	27	73W	26	無	-	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	44	72W	27	有	有	47L	-	-	-	f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	5	89W	10	有	無	80L	-	-	-	D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	56	86N	5	無	-	38L	-	-	-	f-4-5	参考2-126	
	⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184			
	⑩	107.54	109.94	N16E	31	87W	12	有	有	-	N,RL	-	-	D-5	参考2-70			
	⑪	159.77	159.88	N15E	30	87W	12	有	無	21L	-	-	-	f-12-10	参考2-130			
	⑫	171.69	174.88	N9E	24	78W	21	有	有	79L	N	-	-	D-6	参考2-57			
	⑬	175.27	175.28	N29W	14	78W	21	有	無	22R	-	-	-	f-4-9	参考2-127			
	⑭	175.64	175.65	N14E	29	76W	23	有	有	64R	-	-	-	f-4-10	参考2-127			
	⑮	207.69	207.72	N13E	28	83W	16	有	無	-	-	-	-	D-7	参考2-90			
	⑯	218.73	218.74	N20E	35	74W	25	有	無	64L	-	-	-	f-4-12	参考2-127			
	⑰	234.32	236.15	N28W	13	88W	11	無	-	20R	-	-	x	f-6-2	参考2-127			
	⑱	92.63	92.65	-	-	(12)	69	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184			
	⑲	96.46	96.49	-	-	(52)	29	有	有	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184			
	⑳	110.93	110.95	-	-	(35)	46	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184			
	H19-No.5	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	21	82W	17	有	無	75R	-	-	D-38	参考2-116		
			②	167.53	168.54	N41W	26	69W	30	有	無	23R	-	-	f-6-2	参考2-127		
	H19-No.6	範囲内	①	78.22	79.56	N7E	22	87W	12	有	有	80R	-	-	D-24	参考2-103		
②			151.35	151.38	N15E	30	86E	5	有	有	20L	-	-	f-8-11	参考2-128			

( )の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部: H24-B8-35, ②)[B-B' 断面]

第657回審査会合  
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考		
				上端深度	下端深度					断層カウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ	
				(m)	(m)													
H24-B8-35	-	-	②	32.68	32.71	N15W		81E		無	-	-	-	非モデル化	参考2-191			
H19-No.3	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	47	80W	19	有	無	90	-		F-2-8	参考2-125		
			②	30.38	30.48	-	-	-	-	-	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	32	77W	22	有	有	75L	-		F-2-10	参考2-125		
			④	50.35	50.48	N37E	52	67W	32	有	無	-	-		F-2-12	参考2-126		
			①	10.48	11.53	N4W	11	70W	29	有	有	50L	-		D-3	参考2-88		
			②	16.13	16.31	N35E	50	62W	37	有	有	38L	-		F-2-10	参考2-125		
			③	22.20	22.26	N3E	18	79W	20	有	有	2L	-		F-2-11	参考2-126		
			④	24.12	24.41	N7W	8	73W	26	無	-	-	-		F-12-4	参考2-129		
			⑤	34.24	34.38	N12E	27	73W	26	無	-	-	-		F-2-12	参考2-126		
			⑥	46.13	46.38	N29E	44	72W	27	有	有	47L	-		F-4-3	参考2-126		
			⑦	59.22	59.59	N10W	5	89W	10	有	無	80L	-		D-4	参考2-89		
			⑧	60.32	60.36	N71W	56	86N	5	無	-	38L	-		F-4-5	参考2-126		
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184		
			⑩	107.54	109.94	N16E	31	87W	12	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70		
			⑪	159.77	159.88	N15E	30	87W	12	有	無	21L	-		F-12-10	参考2-130		
			⑫	171.69	174.88	N9E	24	78W	21	有	有	79L	N		D-6	参考2-57		
			⑬	175.27	175.28	N29W	14	78W	21	有	無	22R	-		F-4-9	参考2-127		
			⑭	175.64	175.65	N14E	29	76W	23	有	有	64R	-		F-4-10	参考2-127		
			⑮	207.69	207.72	N13E	28	83W	16	有	無	-	-		D-7	参考2-90		
			⑯	218.73	218.74	N20E	35	74W	25	有	無	64L	-		F-4-12	参考2-127		
⑰	234.32	236.15	N28W	13	88W	11	無	-	20R	-	×	F-6-2	参考2-127					
H19-No.5	H19-No.5	範囲内	①	92.63	92.65	-	-	(12)	69	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184			
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	29	有	有	-	-	非モデル化	参考2-184			
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	46	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184			
H19-No.6	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	21	82W	17	有	無	75R	① N	D-38	参考2-116			
			②	167.53	168.54	N41W	26	69W	30	有	無	23R	-	F-6-2	参考2-127			
H19-No.7	H19-No.7	範囲内	①	78.22	79.56	N7E	22	87W	12	有	有	80R	-	D-24	参考2-103			
			②	151.35	151.38	N15E	30	86E	5	有	有	20L	-	F-8-11	参考2-128			

( )の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層カウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

789(分類A)①  
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.18, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.18	-	-	④	155.72	155.75	N36E		76W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	44	84W	8	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	28	84W	8	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	32	81W	5	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	32	72W	4	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	28	87E	17	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
			①	71.21	71.24	N12E	24	76W	0	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	N5	36	79W	3	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	27	80W	4	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.18, ④)

第657回審査会合  
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.18	-	-	④	155.72	155.75	N36E		76W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	44	84W	8	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	28	84W	8	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	32	81W	5	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	32	72W	4	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	28	87E	17	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
			①	71.21	71.24	N12E	24	76W	0	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	36	79W	3	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	27	80W	4	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

790(分類D)①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.18, ⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.18	-	-	⑥	169.62	169.63	N20E		89W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	28	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	5	有	無	62R	N,LL	x	D-39	参考2-117	
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	16	81W	8	有	有	60L	N,R,L		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	16	72W	17	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	8	76W	13	有	無	25L	N,R,L		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	20	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	11	80W	9	有	有	-	N,R,L		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.18, ⑥)

第657回審査会合  
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H19-No.18	-	-	⑥	169.62	169.63	N20E		89W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	28	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	5	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	16	81W	8	有	有	60L	N,R,L		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	16	72W	17	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	8	76W	13	有	無	25L	N,R,L		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	20	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	11	80W	9	有	有	-	N,R,L		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

791(分類D)①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.6, ①)[A-A' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.6	-	-	①	73.43	73.45	N6E		82W		有	無	75R	-	D-38	参考2-116		
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	14	84W	2	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	2	84W	2	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	2	81W	1	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	2	72W	10	有	無	70R	N,LL	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	2	87E	11	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	6	76W	6	無	-	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	6	79W	3	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	3	80W	2	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

# 連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.6, ①)[A-A' 断面]

第657回審査会合  
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.6	-	-	①	73.43	73.45	N6E		82W		有	無	75R	① N		D-38	参考2-116	
	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	14	84W	2	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	2	84W	2	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	2	81W	1	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	2	72W	10	有	無	70R	② N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	2	87E	11	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	6	76W	6	③ 有	④ 無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	6	79W	3	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	3	80W	2	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

## 792 (分類A) ①

連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

## 793 (分類D) ②

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

## 794 (分類A) ③

H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

## 795 (分類A) ④

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑬)[A-A' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	⑬	175.27	175.28	N29W		78W		有	無	22R	-	f-4-9	参考2-127		
		範囲内	①	45.58	45.63	N8W	21	84W	6	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	37	84W	6	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	33	81W	3	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	33	72W	6	有	無	70R	N,LL	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	37	87E	15	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191		
			範囲外	①	71.21	71.24	N12E	41	76W	2	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90	
				②	77.48	78.10	NS	29	79W	1	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159	
				③	80.50	83.93	N9E	38	80W	2	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性もあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑬)[A-A' 断面]

第657回審査会合  
机上配付資料1 修正後

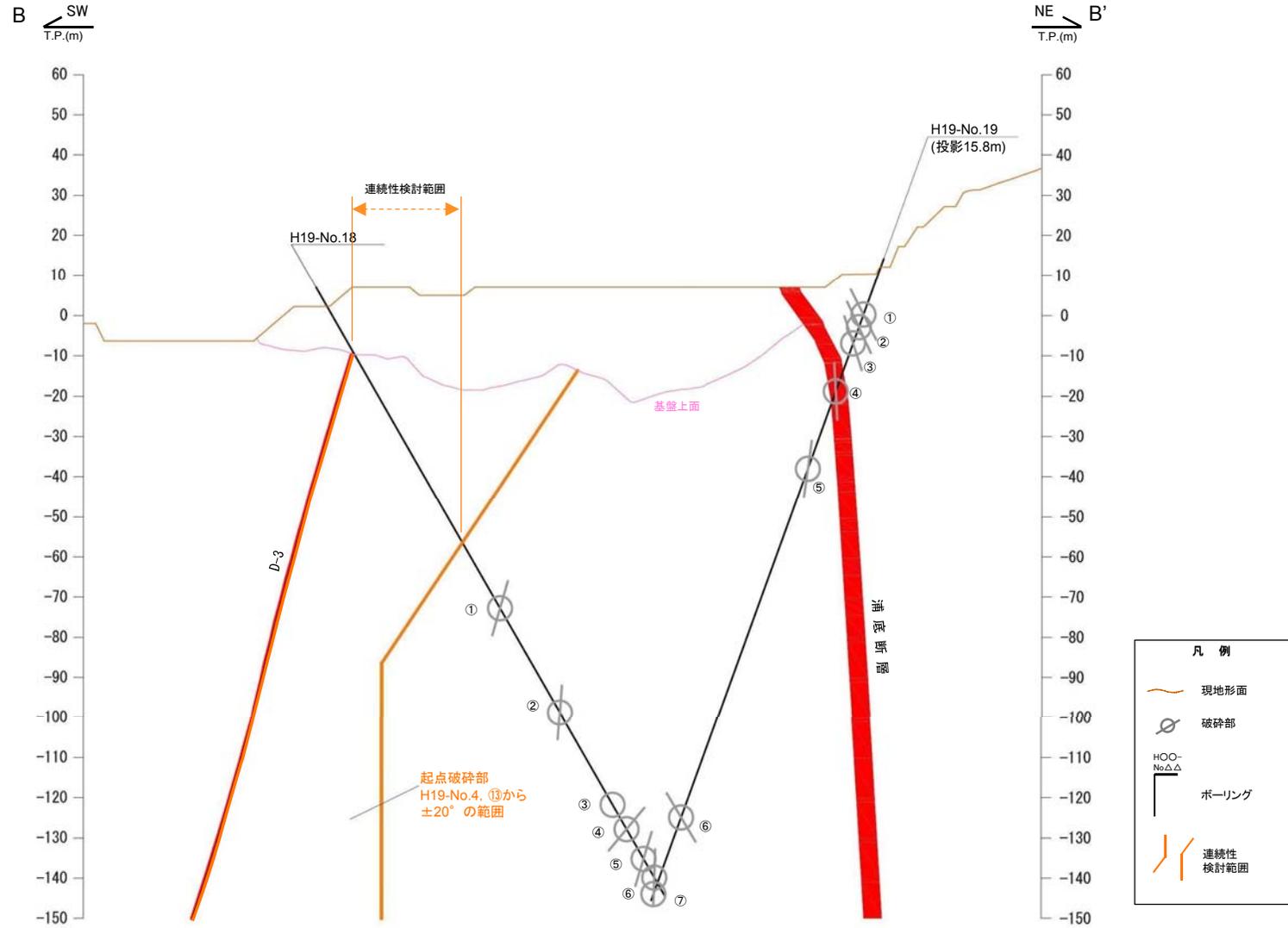
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	⑬	175.27	175.28	N29W		78W		有	無	22R	-	f-4-9	参考2-127		
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	21	84W	6	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	37	84W	6	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	33	81W	3	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
		範囲外	④	97.87	99.00	N4E	33	72W	6	有	無	70R	① N	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	37	87E	15	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191		
			①	71.21	71.24	N12E	41	76W	2	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	N5	29	79W	1	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	38	80W	2	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性もあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

796(分類D)①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。

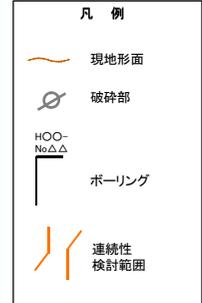
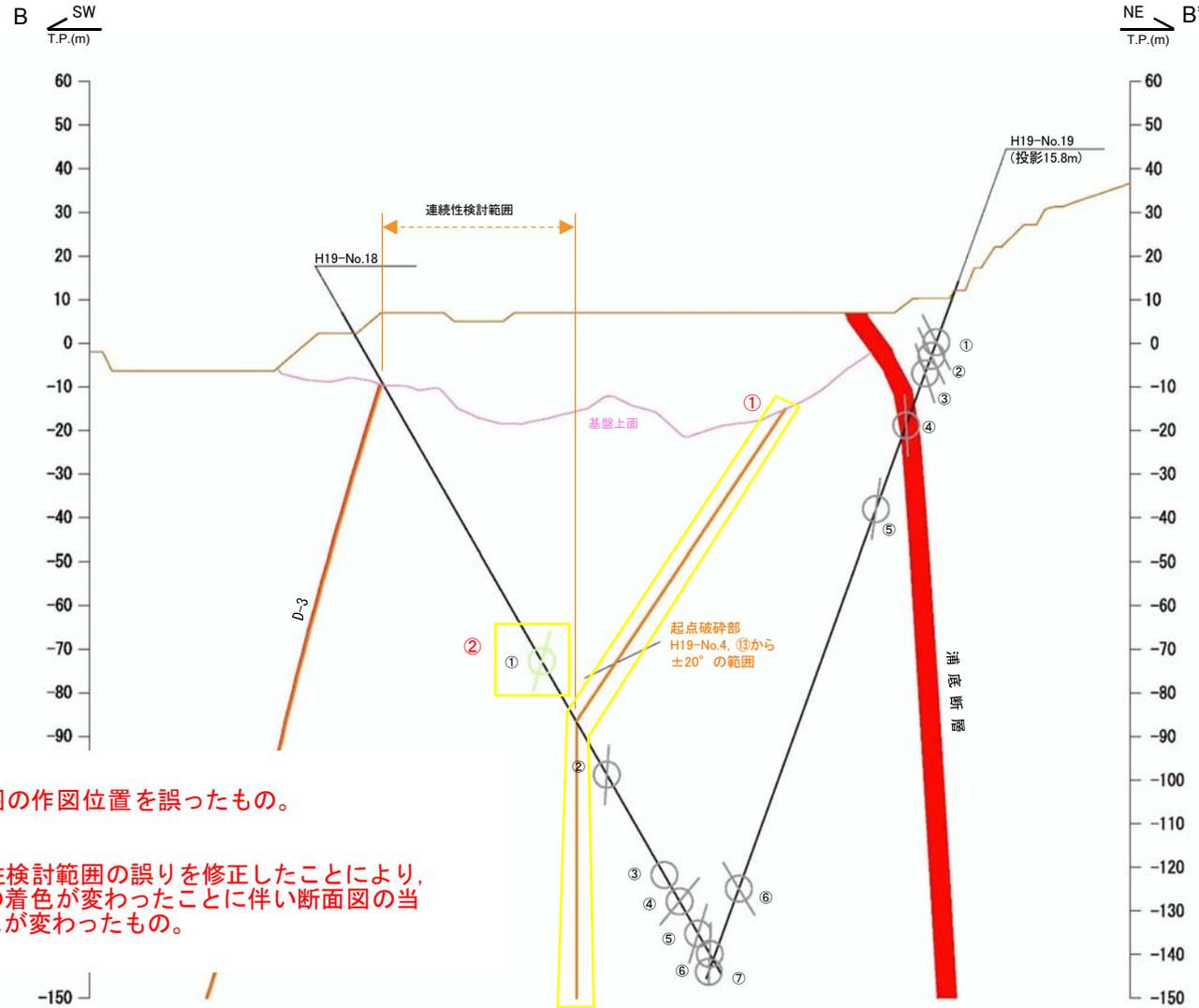
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑬)[B-B' 断面]



**破碎部着色凡例**

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑬)[B-B' 断面]



797(分類B)①  
連続性検討範囲の作図位置を誤ったもの。

798(分類D)②  
断面図の連続性検討範囲の誤りを修正したことにより、  
表の該当箇所の着色が変わったことに伴い断面図の当  
該破碎部の着色が変わったもの。

破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑬)[B-B' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.4	-	-	⑬	175.27	175.28	N29W		78W		有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127		
-	H19-No.18	範囲外	①	92.14	92.18	N31E	60	84W	6	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132		
			②	122.16	122.35	N6E	35	87W	9	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132		
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	-	有	無	-	-		D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	65	76W	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187		
			⑤	164.15	164.25	N9E	38	78W	0	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187		
			⑥	169.62	169.63	N20E	49	89W	11	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187		
	H19-No.19		①	14.73	14.86	N42W	13	63E	39	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133		
			②	17.49	19.70	N36W	7	65E	37	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105		
			③	22.44	22.46	N34W	5	72E	30	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187		
			④	23.70	35.14	N41W	12	87NE	15	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14		
			⑤	55.49	55.56	N20W	9	82W	4	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133		
			⑥	147.93	148.12	N13E	42	68E	34	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133		
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑬)[B-B' 断面]

第657回審査会合  
机上配付資料1 修正後

799(分類D)①

断面図の連続性検討範囲の誤りを修正したことにより, 連続性検討範囲外であったものが, 連続性検討範囲内に変わったもの。

800(分類D)②

断面図の連続性検討範囲の誤りを修正したことにより, 表の該当箇所の着色が変わったもの。

起点	対比する ボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上 の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との 走向の差 (°)	傾斜	比較対象との 傾斜の差 (°)	性状				連続性 検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・ 断層角礫 の有無	明瞭な せん断構造・ 変形構造 の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	⑬	175.27	175.28	N29W	-	78W	-	有	無	22R	-	f-4-9	参考2-127		
-	H19-No.18	① 範囲内	①	92.14	92.18	N31E	60	84W	6	有	無	10L	-	f-18-1	参考2-132		
			②	122.16	122.35	N6E	35	87W	9	有	無	73L	-	f-18-2	参考2-132		
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	-	有	無	-	-	D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	65	76W	2	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	38	78W	0	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-187	
			⑥	169.62	169.63	N20E	49	89W	11	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19	② 範囲外	①	14.73	14.86	N42W	13	63E	39	有	有	22L (不明瞭)	-	f-19-1	参考2-133		
			②	17.49	19.70	N36W	7	65E	37	有	有	69L (不明瞭)	N	D-26	参考2-105		
			③	22.44	22.46	N34W	5	72E	30	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187		
			④	23.70	35.14	N41W	12	87NE	15	有	有	-	R,LL	浦底断層	参考2-14		
			⑤	55.49	55.56	N20W	9	82W	4	有	有	4L	-	f-19-5	参考2-133		
			⑥	147.93	148.12	N13E	42	68E	34	有	有	-	-	f-19-6	参考2-133		
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	-	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑭)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	⑧	175.64	175.65	N14E		76W		有	有	64R	-	f-4-10	参考2-127		
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	22	84W	8	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	6	84W	8	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	10	81W	5	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	10	72W	4	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	6	87E	17	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	2	76W	0	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	14	79W	3	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	5	80W	4	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	8	82W	6	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	55	69W	7	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状（断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑭)

第657回審査会合  
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	㊦	175.64	175.65	N14E		76W		有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	22	84W	8	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	6	84W	8	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	10	81W	5	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	10	72W	4	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	6	87E	17	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	2	76W	0	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	14	79W	3	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	5	80W	4	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	8	82W	6	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	55	69W	7	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

801(分類D)①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

802(分類A)②

連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑬)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	⑬	218.73	218.74	N20E		74W		有	無	64L	-	f-4-12	参考2-127		
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	28	84W	10	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	10	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	16	81W	7	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	16	72W	2	有	無	70R	N,LL	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	19	無	-	5L	RL		参考2-191		
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	8	76W	2	有	無	25L	N,RL	x	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	20	79W	5	有	有	20L	RL	x	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	11	80W	6	有	有	-	N,RL	x	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	14	82W	8	有	無	75R	N	x	D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	61	69W	5	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑬)

第657回審査会合  
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	㊦	218.73	218.74	N20E		74W		有	無	64L	-	f-4-12	参考2-127		
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	28	84W	10	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	10	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	16	81W	7	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	16	72W	2	有	無	70R	① N	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	19	無	-	5L	RL		参考2-191		
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	8	76W	2	有	無	25L	N,RL	x	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	20	79W	5	有	有	20L	RL	x	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	11	80W	6	有	有	-	N,RL	x	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	14	82W	8	有	無	75R	N	x	D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	61	69W	5	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

803(分類)①  
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。

## 目次(参考資料2 性状一覽表)

No.	分類項目	頁	断層名 及び 破砕帯名	頁
1	浦底断層	参考2-5	浦底断層	参考2- 7
2	D-1破砕帯	参考2-27	D-1	参考2- 29
3	K断層	参考2-41	K断層	参考2- 42
4	D-6破砕帯	参考2-53	D-6	参考2- 56
5	D-14破砕帯	参考2-62	D-14	参考2- 64
6	D-5破砕帯	参考2-68	D-5	参考2- 70
7	H-3a破砕帯	参考2-76	H-3a	参考2- 78
8	D-2~D-16破砕帯	参考2-82	D-2	参考2- 86
			D-3	参考2- 87
			D-4	参考2- 89
			D-7	参考2- 90
			D-11	参考2- 91
			D-12	参考2- 91
			D-13	参考2- 92
			D-15	参考2- 92
			D-16	参考2- 93
9	D-17~D-28破砕帯	参考2-94	D-17	参考2- 98
			D-18	参考2- 98
			D-19	参考2- 99
			D-20	参考2- 100
			D-21	参考2- 102
			D-22	参考2- 102
			D-23	参考2- 103
			D-24	参考2- 103
			D-25	参考2- 104
			D-26	参考2- 105
			D-27	参考2- 106
			D-28	参考2- 106

No.	分類項目	頁	断層名 及び 破砕帯名	頁
10	D-29~D-47破砕帯	参考2-107	D-29	参考2- 111
			D-30	参考2- 111
			D-31	参考2- 111
			D-32	参考2- 112
			D-33	参考2- 112
			D-34	参考2- 113
			D-35	参考2- 114
			D-36	参考2- 115
			D-37	参考2- 116
			D-38	参考2- 116
			D-39	参考2- 117
			D-41	参考2- 117
			D-42	参考2- 118
			D-43	参考2- 118
			D-44	参考2- 119
			D-45	参考2- 119
			D-46	参考2- 119
			D-47	参考2- 120

No.	分類項目	頁	断層名 及び 破砕帯名	頁
11	f-2-3~f-20-11 破砕帯	参考2-121	f-2-3	参考2- 125
			f-2-7	参考2- 125
			f-2-8	参考2- 125
			f-2-10	参考2- 125
			f-2-11	参考2- 126
			f-2-12	参考2- 126
			f-4-3	参考2- 126
			f-4-5	参考2- 126
			f-4-9	参考2- 127
			f-4-10	参考2- 127
			f-4-12	参考2- 127
			f-6-2	参考2- 127
			f-8-1	参考2- 128
			f-8-2	参考2- 128
			f-8-8	参考2- 128
			f-8-11	参考2- 128
			f-9-4	参考2- 128
			f-12-3	参考2- 129
			f-12-4	参考2- 129
			f-12-6	参考2- 129
			f-12-7	参考2- 129
			f-12-8	参考2- 130
			f-12-10	参考2- 130
			f-13-3	参考2- 130
			f-14-1	参考2- 131
			f-14-2	参考2- 131
			f-14-5	参考2- 131
			f-15-1	参考2- 131
			f-15-2	参考2- 131
			f-15-3	参考2- 132
			f-17-2	参考2- 132
			f-18-1	参考2- 132
			f-18-2	参考2- 132
			f-19-1	参考2- 133
			f-19-5	参考2- 133
			f-19-6	参考2- 133
			f-20-11	参考2- 133

No.	分類項目	頁	断層名 及び 破砕帯名	頁
12	f-①-1-3~f-④-13 破砕帯	参考2-134	f-①-1-3	参考2- 138
			f-①-2-2	参考2- 138
			f-①-2-4	参考2- 138
			f-①-3-4	参考2- 139
			f-①-3-5	参考2- 139
			f-①-3-6	参考2- 139
			f-①-3-7	参考2- 139
			f-①-3-8	参考2- 139
			f-①-4-3	参考2- 140
			f-①-9-2	参考2- 140
			f-①-9-3	参考2- 140
			f-①-10-2	参考2- 140
			f-②-1-1	参考2- 140
			f-②-1-2	参考2- 140
			f-②-1-3	参考2- 140
			f-③-1-1	参考2- 141
			f-③-1-2	参考2- 141
			f-④-1-2	参考2- 141
			f-④-1-3	参考2- 141
			f-④-1-4	参考2- 142
			f-④-2-1	参考2- 142
			f-④-2-3	参考2- 142
			f-④-3-1	参考2- 143
			f-④-5-3	参考2- 143
			f-④-6-1	参考2- 143
			f-④-6-2	参考2- 144
			f-④-6-3	参考2- 144
			f-④-6-4	参考2- 144
			f-④-7-1	参考2- 144
			f-④-9-1	参考2- 144
			f-⑥-1-2	参考2- 145
			f-⑥-1-3	参考2- 145
			f-⑥-2-2	参考2- 145
			f-⑥-2-3	参考2- 145
			f-⑥-2-4	参考2- 146
			f-⑥-2-5	参考2- 146
			f-⑥-3-1	参考2- 147
			f-⑥-3-2	参考2- 147
			f-⑥-3-3	参考2- 147
			f-⑥-3-4	参考2- 147
			f-⑥-3-5	参考2- 147
			f-⑥-3-6	参考2- 148
			f-⑥-3-8	参考2- 148
			f-⑥-3-9	参考2- 148

# 目次(参考資料2 性状一覧表)

804(分類A)①

性状一覧表の目次のページ番号について、転記元の性状一覧表の当該ページから転記したが、転記を誤ったもの。

No.	分類項目	頁	断層名 及び 破砕帯名	頁
1	浦底断層	参考2-5	浦底断層	参考2-7
2	D-1破砕帯	参考2-27	D-1	参考2-29
3	K断層	参考2-41	K断層	参考2-42
4	D-6破砕帯	参考2-54	D-6	参考2-56
5	D-14破砕帯	参考2-62	D-14	参考2-64
6	D-5破砕帯	参考2-66	D-5	参考2-70
7	H-3a破砕帯	参考2-76	H-3a	参考2-78
8	D-2~D-16破砕帯	参考2-82	D-2	参考2-86
			D-3	参考2-87
			D-4	参考2-89
			D-7	参考2-90
			D-11	参考2-91
			D-12	参考2-91
			D-13	参考2-92
			D-15	参考2-92
			D-16	参考2-93
9	D-17~D-28破砕帯	参考2-94	D-17	参考2-98
			D-18	参考2-98
			D-19	参考2-99
			D-20	参考2-100
			D-21	参考2-102
			D-22	参考2-102
			D-23	参考2-103
			D-24	参考2-103
			D-25	参考2-104
			D-26	参考2-105
			D-27	参考2-106
			D-28	参考2-106

No.	分類項目	頁	断層名 及び 破砕帯名	頁
10	D-29~D-47破砕帯	参考2-107	D-29	参考2-111
			D-30	参考2-111
			D-31	参考2-111
			D-32	参考2-112
			D-33	参考2-112
			D-34	参考2-113
			D-35	参考2-114
			D-36	参考2-115
			D-37	参考2-116
			D-38	参考2-116
			D-39	参考2-117
			D-41	参考2-117
			D-42	参考2-118
			D-43	参考2-118
			D-44	参考2-119
			D-45	参考2-119
			D-46	参考2-119
			D-47	参考2-120

No.	分類項目	頁	断層名 及び 破砕帯名	頁
11	f-2-3~f-20-11 破砕帯	参考2-121	f-2-3	参考2-125
			f-2-7	参考2-125
			f-2-8	参考2-125
			f-2-10	参考2-125
			f-2-11	参考2-126
			f-2-12	参考2-126
			f-4-3	参考2-126
			f-4-5	参考2-126
			f-4-9	参考2-127
			f-4-10	参考2-127
			f-4-12	参考2-127
			f-6-2	参考2-127
			f-8-1	参考2-128
			f-8-2	参考2-128
			f-8-8	参考2-128
			f-8-11	参考2-128
			f-9-4	参考2-128
			f-12-3	参考2-129
			f-12-4	参考2-129
			f-12-6	参考2-129
			f-12-7	参考2-129
			f-12-8	参考2-130
			f-12-10	参考2-130
			f-13-3	参考2-130
			f-14-1	参考2-131
			f-14-2	参考2-131
			f-14-5	参考2-131
			f-15-1	参考2-131
			f-15-2	参考2-131
			f-15-3	参考2-132
			f-17-2	参考2-132
			f-18-1	参考2-132
			f-18-2	参考2-132
			f-19-1	参考2-133
			f-19-5	参考2-133
			f-19-6	参考2-133
			f-20-11	参考2-133

No.	分類項目	頁	断層名 及び 破砕帯名	頁
12	f-①-1-3~f-④-13 破砕帯	参考2-134	f-①-1-3	参考2-138
			f-①-2-2	参考2-138
			f-①-2-4	参考2-138
			f-①-3-4	参考2-139
			f-①-3-5	参考2-139
			f-①-3-6	参考2-139
			f-①-3-7	参考2-139
			f-①-3-8	参考2-139
			f-①-4-3	参考2-140
			f-①-9-2	参考2-140
			f-①-9-3	参考2-140
			f-①-10-2	参考2-140
			f-②-1-1	参考2-140
			f-②-1-2	参考2-140
			f-②-1-3	参考2-140
			f-③-1-1	参考2-141
			f-③-1-2	参考2-141
			f-④-1-2	参考2-141
			f-④-1-3	参考2-141
			f-④-1-4	参考2-142
			f-④-2-1	参考2-142
			f-④-2-3	参考2-142
			f-④-3-1	参考2-143
			f-④-5-3	参考2-143
			f-④-6-1	参考2-143
			f-④-6-2	参考2-144
			f-④-6-3	参考2-144
			f-④-6-4	参考2-144
			f-④-7-1	参考2-144
			f-④-9-1	参考2-144
			f-⑥-1-2	参考2-145
			f-⑥-1-3	参考2-145
			f-⑥-2-2	参考2-145
			f-⑥-2-3	参考2-145
			f-⑥-2-4	参考2-146
			f-⑥-2-5	参考2-146
			f-⑥-3-1	参考2-147
			f-⑥-3-2	参考2-147
			f-⑥-3-3	参考2-147
			f-⑥-3-4	参考2-147
			f-⑥-3-5	参考2-147
			f-⑥-3-6	参考2-148
			f-⑥-3-8	参考2-148
			f-⑥-3-9	参考2-148

1. 浦底断層  
性状一覧表(4/19)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写 真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明確なせん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
浦底断層	H24-B7-1 (傾斜45°)	63.20	69.46	N30W	80NE	385.4	1.2	有	平滑	31L	-	-	
	Bトレンチ	-	-	N20W	70E	135.0	2.0	有 *1	平滑 *1	27L	逆 *1	左 *1	

凡 例			
	: 最新活動面		: 破砕幅
	: 断層ガウジ		: 粘土の狭在物が認められる箇所
			*1: 露頭 *2: 試掘坑

【破砕幅】  
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、  
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部  
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層  
性状一覧表(4/19)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ 断層角礫の 幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写 真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明確な せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
浦底断層	H24-B7-1 (傾斜45°)	63.20	69.46	N30W	80NE	385.4	1.2	有	平滑	31L	-	-	
	Bトレンチ	-	-	N27W	69E	135.0	2.0	有 *1	平滑 *1	28L	逆 *1	左 *1	

805 (分類A) ①  
走向・傾斜について、転記元の細分化カタログから転記したが、転記を誤ったもの。

806 (分類A) ②  
条線方向について、転記元の細分化カタログから転記したが、転記を誤ったもの。

凡 例

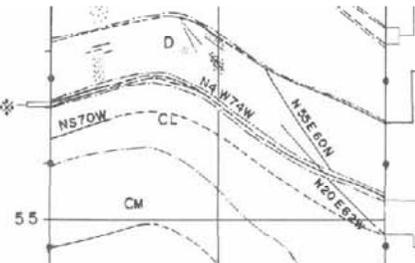
 : 最新活動面   
  : 破砕幅   
  : 断層ガウジ   
  : 粘土の狭在物が認められる箇所   
 \*1: 露頭   
 \*2: 試掘坑

【破砕幅】  
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、  
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部  
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

2. D-1 破碎帯  
性状一覧表(7/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭なせん断構造変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-1	H27-B-3 (傾斜45°)	119.11	119.25	N20E	87W	12.3	1.0	有	非平滑	60L	正	右	119  120
	H27-B-4 (傾斜45°)	15.91	16.36	N16W	83W	31.8	2.5	有	非平滑	60L	正	右	15  16
													16  17
	H27-B-4 (傾斜45°)	23.97	24.42	N16W	83W	34.0	0.2	有	平滑	60L	正	右	23  24
													24  25
H24-D1-5 (傾斜50°)	47.47	47.89	N1E	88W	17.7	2.0	有	平滑	80L	正	-	47  48	
2号炉 試験坑B坑	-	-	N4W	74W	15.0	2.0	有*2	非平滑*2	-	-	-	-	 <p>幅2mm褐色粘土 幅約8cmの小角礫状部。上盤側端に幅3mm以内の黄褐色粘土が挟まれ 下盤側に幅10~30mmの灰白色粘土が挟まれる。(D-1) 上盤側岩盤は比較的しっかりしているが、下盤側岩盤は熱水変質の幅5~10mmの淡黄褐色~灰白色粘土、両側岩盤はやや軟質化している。 白色で幅10mm以下の粘土付着。</p>

凡例

 :最新活動面   
  :破砕幅   
  :断層ガウジ   
  :粘土の狭在物が認められる箇所   
 \*1:露頭   
 \*2:試験坑

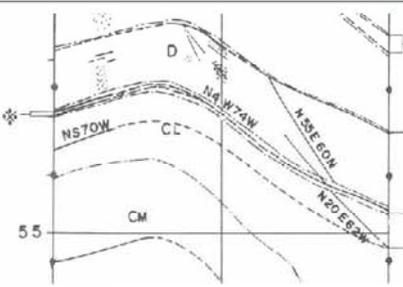
【破砕幅】  
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

2. D-1破砕帯  
性状一覽表(7/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真		
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭なせん断構造	平滑さ		鉛直	水平			
D-1	H27-B-3 (傾斜45°)	119.11	119.25	N20E	87W	12.3	1.0	有	非平滑	60L	正	右	119		120
	H27-B-4 (傾斜45°)	15.91	16.36	N16W	83W	31.8	2.5	有	非平滑	60L	正	右	15		16
													16		17
	H27-B-4' (傾斜45°)	23.97	24.42	N16W	83W	34.0	0.2	有	平滑	60L	正	右	23		24
													24		25
H24-D1-5 (傾斜50°)	47.47	47.89	N1E	88W	17.7	2.0	有	平滑	80L	正	-	47		48	
2号炉 試験坑B坑	-	-	N4W	74W	15.0	2.0	有*2	非平滑*2	-	-	-	-			



幅2mm褐色粘土 ①  
 ※幅約8cmの小角礫状部。上盤側端に幅3mm以内の黄褐色粘土が挟まれ、下盤側に幅10~30mmの灰白色粘土が挟まれる。(D-1)  
 上盤側岩盤は比較的しっかりしているが、下盤側岩盤は熱水変質の影響で軟質化している。  
 幅5~10mmの淡黄褐色~灰白色粘土。両側岩盤はやや軟質化している。(D-1)  
 白色で幅10mm以下の粘土附着。

807(分類E)①  
 記載のテキストボックスの幅が不足していたため、体裁が崩れていたもの。

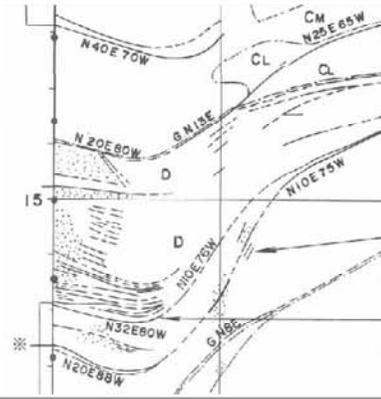
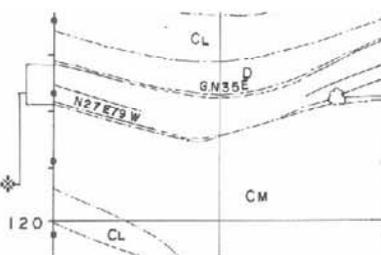
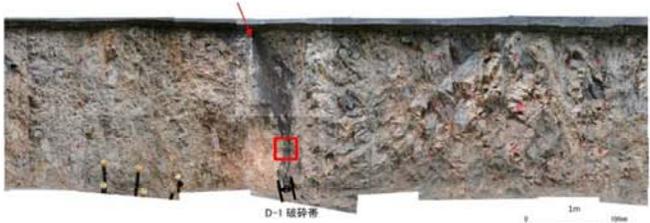
凡例  

 :最新活動面 ← → :破砕幅 :断層ガウジ ○ :粘土の狭在物が認められる箇所 \*1:露頭 \*2:試験坑

粘工状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。  
 【平滑さ】  
 平滑：最新活動面が直線的なもの  
 非平滑：最新活動面が湾曲するもの

2. D-1 破碎帯  
性状一覽表(8/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ・断層角縁の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭なせん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-1	2号炉 試験坑A坑	-	-	N10E	75W	120.0	8.0	有 *2	非平滑 *2	-	-	-	 <p>幅5mmのやわらかい淡褐色(チョコレート色)~灰白色粘土 幅3~8mmの暗褐色(チョコレート色)粘土。 白色粘土フィルムが網目状に発達する。この部分は破碎を受けているが、C坑には延びていない。 幅120cm以内の主として砂状~角礫状部からなる破碎帯(D-1)。 上盤端には幅7cmの黄白色粘土があり、その中には幅10mmの黄 幅20~30mmの白色粘土と幅数mmの淡褐色(チョコレート色)粘土、 幅5mm以内の灰白色粘土を伴う。 幅5mm以内の灰白色粘土を伴う。 条線N25° W/N45° P 幅2mm淡桃色~灰白色粘土 節理間隔3~5cm。多少軟質化し、白色粘土のフィルム付着。</p>
	2号炉 試験坑C坑	-	-	N35E	84W	80.0	4.0	有 *2	非平滑 *2	-	-	-	 <p>最大幅80cmの主として軟質砂状部からなる破碎帯。白色粘土のフィルムがネットワーク状に発達。中心部に幅5mmの灰黄色粘土を挟む。下盤側に幅3cm灰黄色粘土があり、中にチョコレート色の幅2~10mmの粘土を挟在。底盤より1.5m付近の熱水粘土と熱水ガマ粘土は淡緑灰色でリモナイトが周辺をとりかこんでいる。(D-1) 幅60cmの破碎帯。上盤側から下盤側に向かって、10~30cmの小角礫状部、幅3~4cmの砂状部、幅8~12mmの黄橙色粘土、幅10~30cmの小角礫状部からなる。 左・右壁の黒色沈着物は乱されていない。</p>
	2号炉 原子炉建屋南側斜面	-	-	N21E	61W	20.0	3.0	有 *1	平滑 *1	68L	正	-	 

凡例  
 : 最新活動面  
 : 破碎幅  
 : 断層ガウジ  
 : 粘土の狭在物が認められる箇所  
\*1: 露頭  
\*2: 試験坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

2. D-1 破碎帯  
性状一覽表 (8/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角線の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭なせん断構造変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-1	2号炉 試験坑A坑	-	-	N10E	75W	120.0	8.0	有 *2	非平滑 *2	-	-	-	<p>808(分類E)① 記載のテキストボックスの幅が不足していたため、体裁が崩れていたもの。</p> <p>幅120cm以内の主として砂状～角礫状部からなる破砕帯(D-1)。上盤端には幅7cmの黄白色粘土があり、その中には幅10mmの黄褐色粘土、幅2mmの暗褐色(チョコレート色)粘土を伴う。下盤には幅5mm以内の灰白色粘土を伴う。</p> <p>幅20～30mmの白色粘土と幅数mmの淡褐色(チョコレート色)粘土。</p> <p>条線N25° W/N45° P</p> <p>※ 幅2mm淡桃色～灰白色粘土</p> <p>※ 節理間隔3～5cm。多少軟質化し、白色粘土のフィルム附着。</p>
	2号炉 試験坑C坑	-	-	N35E	84W	80.0	4.0	有 *2	非平滑 *2	-	-	-	<p>最大幅80cmの主として軟質砂状部からなる破砕帯。白色粘土のフィルムがネットワーク状に発達。中心部に幅5mmの灰黄色粘土を挟む。下盤側に幅3cm灰黄色粘土があり、中にチョコレート色の幅2～10mmの粘土を挟む。底盤より1.5m付近の熱水粘土と熱水ガマ粘土は淡緑灰色でリモナイトが周辺をとりかこんでいる。(D-1)</p> <p>※ 幅60cmの破砕帯。上盤側から下盤側に向かって、10～30cmの小角礫状部、幅3～4cmの砂状部、幅8～12mmの黄橙色粘土、幅10～30cmの小角礫状部からなる。</p> <p>左・右壁の黒色沈着物は乱されていない。</p>
	2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	N21E	61W	20.0	3.0	有 *1	平滑 *1	68L	正	-	<p>D-1 破砕帯</p>

凡例

: 最新活動面   
 : 破砕幅   
 : 断層ガウジ   
 : 粘土の狭在物が認められる箇所   
 \*1: 露頭   
 \*2: 試験坑

【破砕幅】  
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

3. K断層

性状一覧表(4/12)

第657回審査会  
机上配付資料2 修正前

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角様の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭なせん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
K	H24-B-1 (傾斜45°)	7.50	10.93	N12W	89W	242.5	1.0	有	非平滑	55L	-	-	7 8 9 10 11
	H24-B-2 (傾斜70°)	12.42	13.27	N4E	73W	52.3	0.3	有	非平滑	20L	-	左	12 13
	H24-H-2 (傾斜70°)	5.02	5.38	N29W	66W	12.3	2.5	有	非平滑	75R	-	-	5 6
	H24-B-7 (傾斜90°)	0.62		N28W	62W	-	-	-	-	30R	-	-	0 1
	H24-B-3 (傾斜45°)	7.37	7.70	NS	84W	19.4	0.3	無	-	50L	逆	左	7 8

凡 例			
	:最新活動面		:破砕幅
	:断層ガウジ		:粘土の狭在物が認められる箇所
*	1:露頭		
*	2:試掘坑		

【破砕幅】  
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、  
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部  
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-45

3. K断層  
性状一覽表(4/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

809(分類A)①  
変位センスについて、転記元の細分化カタログから転記したが、転記を誤ったもの。

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・ 断層角礫の 幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写 真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭な せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
K	H24-B-1 (傾斜45°)	7.50	10.93	N12W	88W	242.5	1.0	有	非平滑	59L	①	逆 左	7 8 9 10 11
	H24-B-2 (傾斜70°)	12.42	13.27	N4E	73W	52.3	0.3	有	非平滑	20L	-	左	12 13
	H24-H-2 (傾斜70°)	5.02	5.38	N29W	66W	12.3	2.5	有	非平滑	75R	-	-	5 6
	H24-B-7 (傾斜90°)	0.62		N28W	67W	-	-	-	-	30R	-	-	0 1
	H24-B-3 (傾斜45°)	7.37	7.70	NS	84W	19.4	0.3	無	-	50L		逆 左	7 8

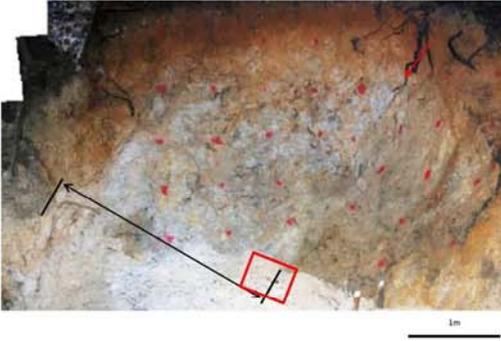
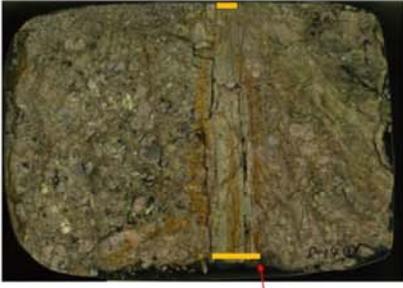
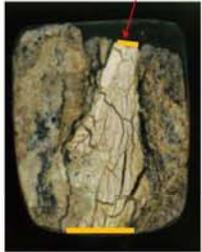
凡 例			
	: 最新活動面		: 破砕幅
	: 断層ガウジ		: 粘土の狭在物が認められる箇所
*	1: 露頭		
*	2: 試掘坑		

【破砕幅】  
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、  
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部  
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

5. D-14破碎帯  
性状一覽表(1/3)

- ・ 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- ・ なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ 断層角縁の幅 (cm)	最新活動面		変位方向	変位センス		写 真	
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭なせん断構造・変形構造	平滑さ		鉛直	水平		
D-14	既往露頭 (追加計測)	-	-	N6E	63W	255.0	2.0	有 *1	平滑 *1	20R	-	左		
	ピット① (追加計測)	-	-	N5E	68W	300.0	6.0	有 *1	非平滑 *1	20R	-	左		

  : 前回審査資料提出時に黄色枠を消し忘れた箇所

凡 例

← → : 最新活動面    ← → : 破碎幅     : 断層ガウジ    ○ : 粘土の狭在物が認められる箇所    \*1: 露頭    \*2: 試験坑

**【破碎幅】**  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

**【平滑さ】**  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

5. D-14破碎帯  
性状一覧表(1/3)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

- ・ 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- ・ なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ断面角線の幅 (cm)	最新活動面		変位方向	変位センス		写真	
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭なせん断構造・変形構造	平滑さ		鉛直	水平		
D-14	既往露頭 (追加計測)	-	-	N6E	63W	255.0	2.0	有 *1	平滑 *1	20R	-	左		
	ピット① (追加計測)	-	-	N5E	68W	300.0	6.0	有 *1	非平滑 *1	20R	-	左		

810, 811 (分類E) ①  
審査資料の変更箇所を示す黄枠を消し忘れたもの。

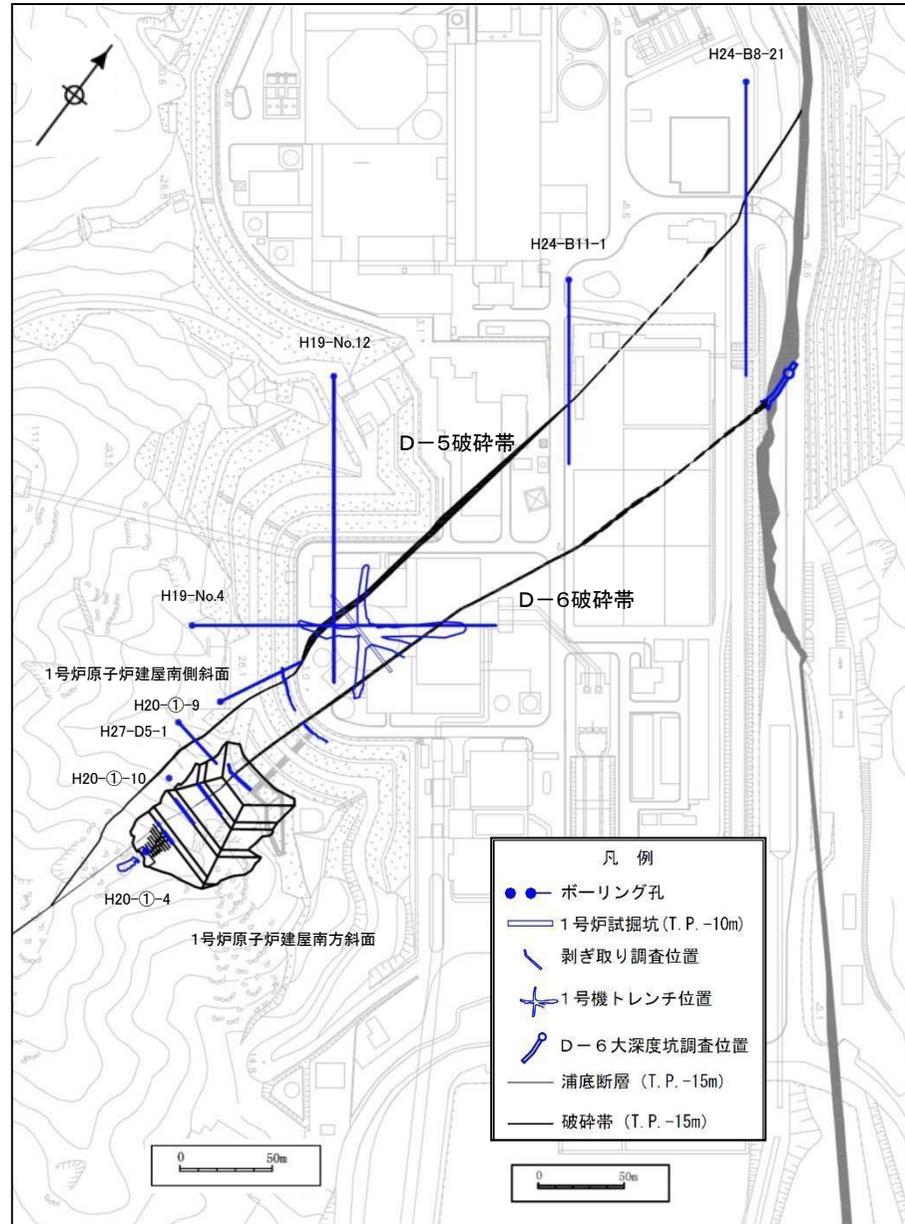
①

凡 例			
	: 最新活動面		: 破碎幅
	: 断層ガウジ		: 粘土の狭在物が認められる箇所
		*1:	露頭
		*2:	試掘坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

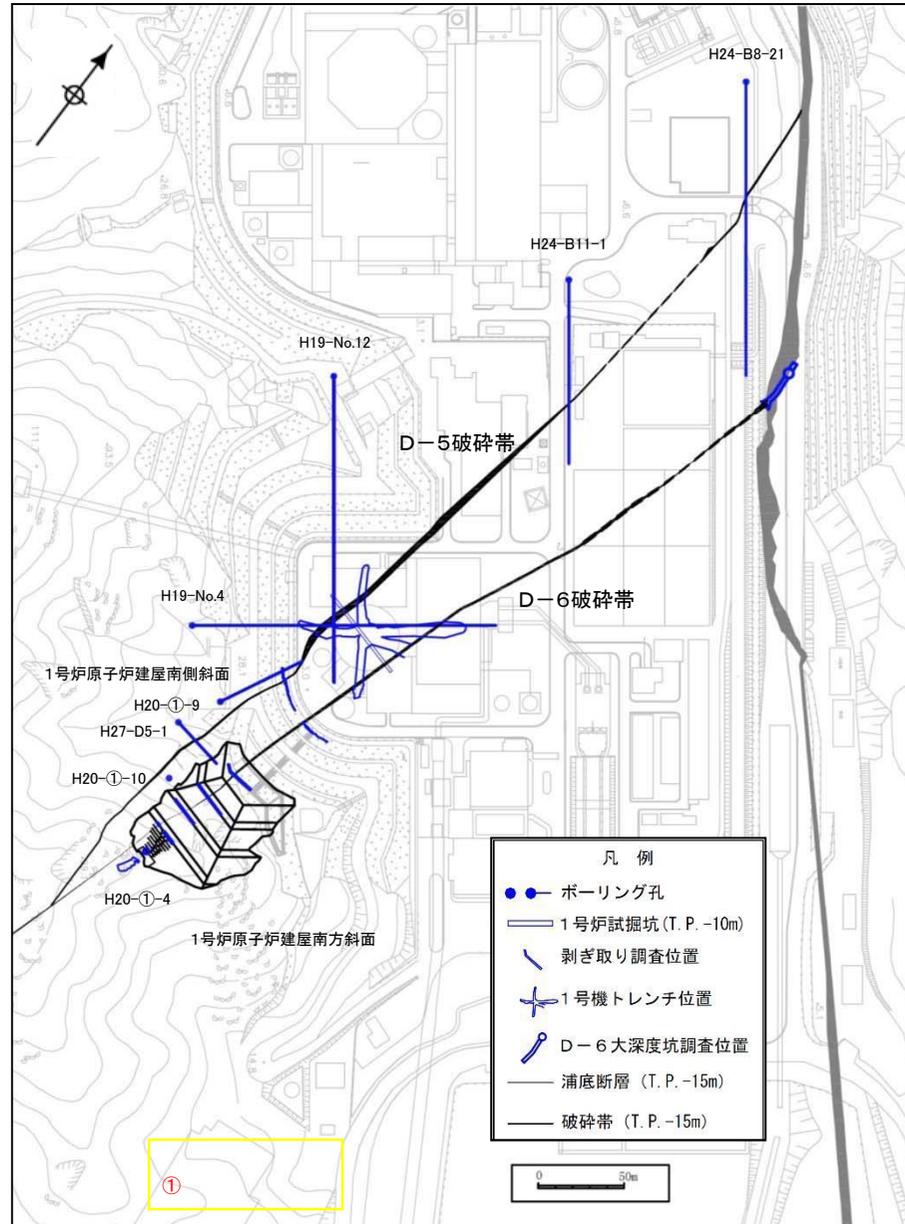
6. D-5破碎帯  
調査位置図



D-5破碎帯調査位置図

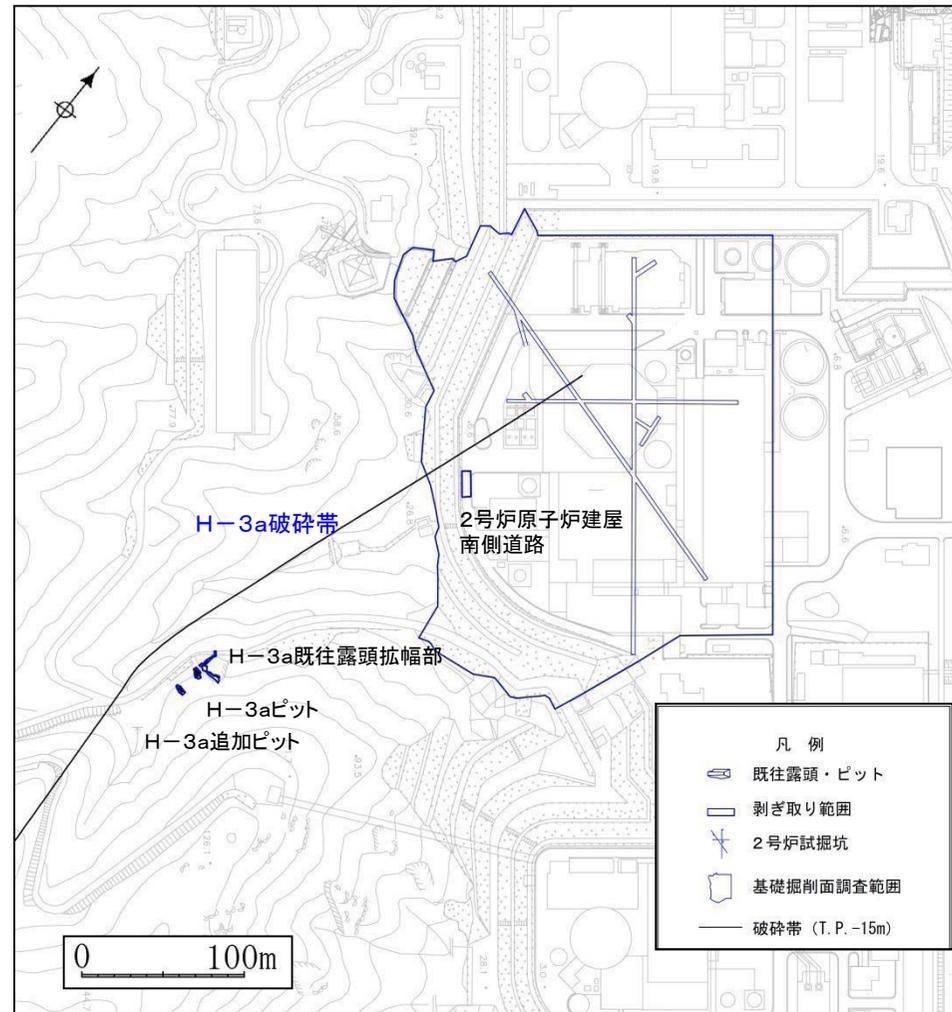
6. D-5破碎帯  
調査位置図

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

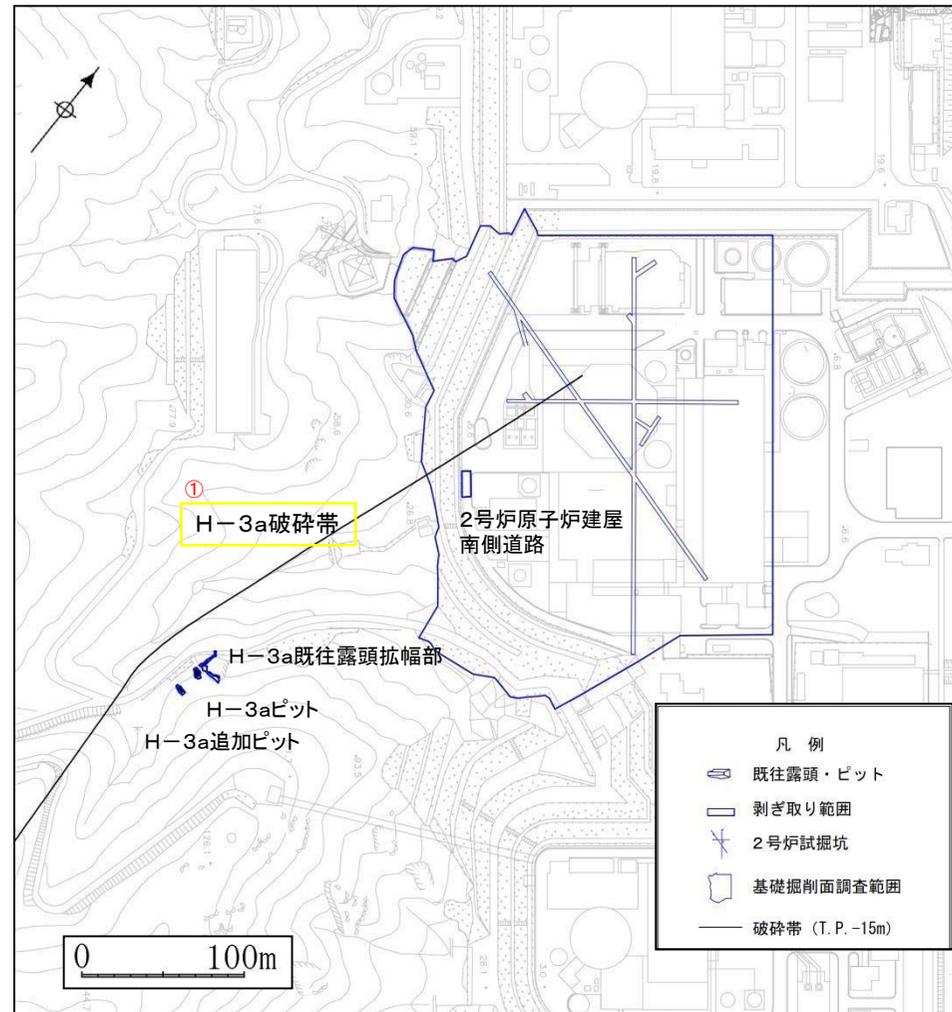


812(分類E)①  
調査位置図の不要なスケールを消し忘れたもの。

D-5破碎帯調査位置図

7. H-3a破碎帯  
調査位置図

H-3a破碎帯調査位置図

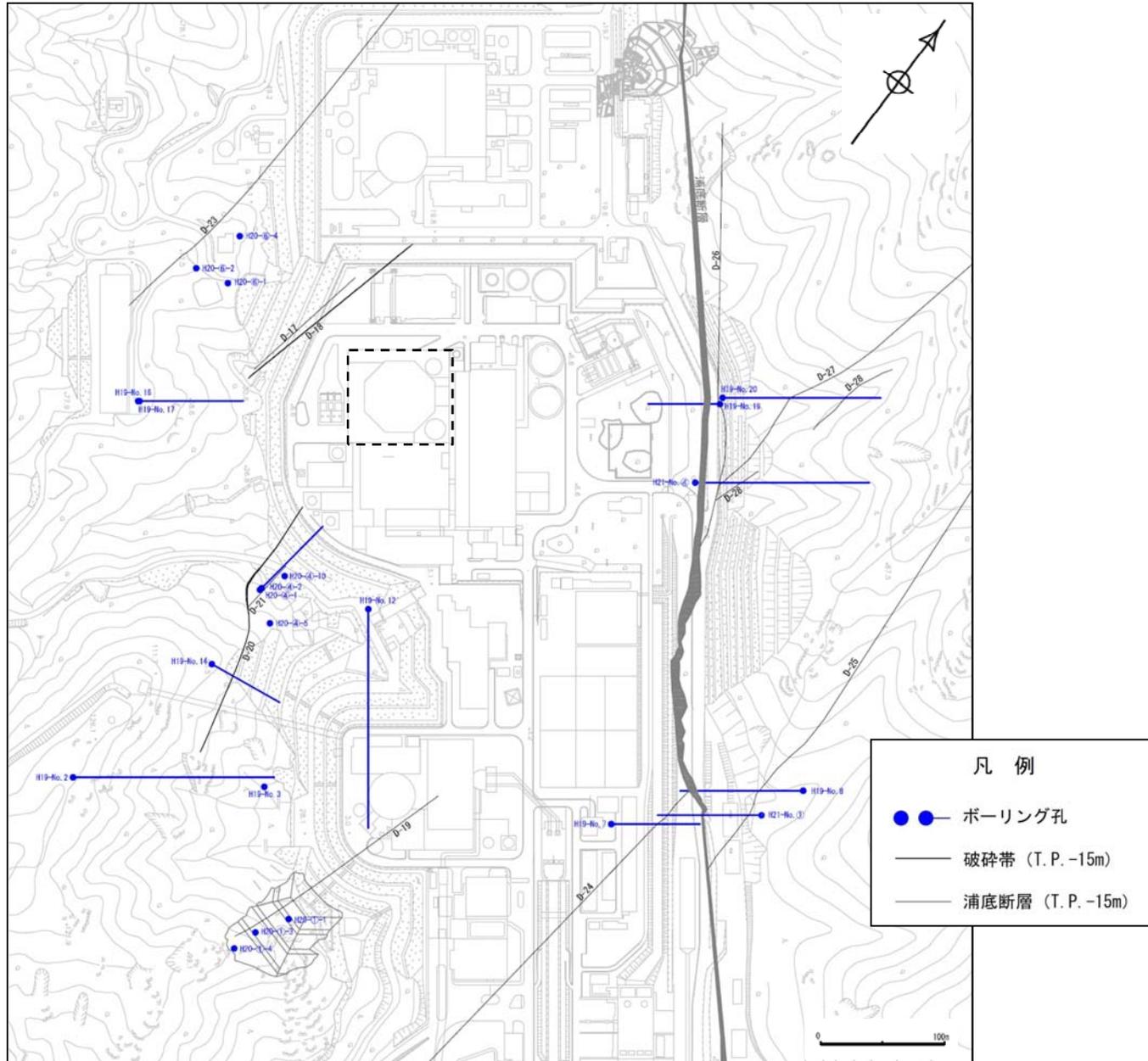
7. H-3a破碎帯  
調査位置図

H-3a破碎帯調査位置図

813(分類F)①  
調査位置図の破碎帯名の文字の色が統一されていないもの。

9. D-17~D-28破碎帯  
調査位置図

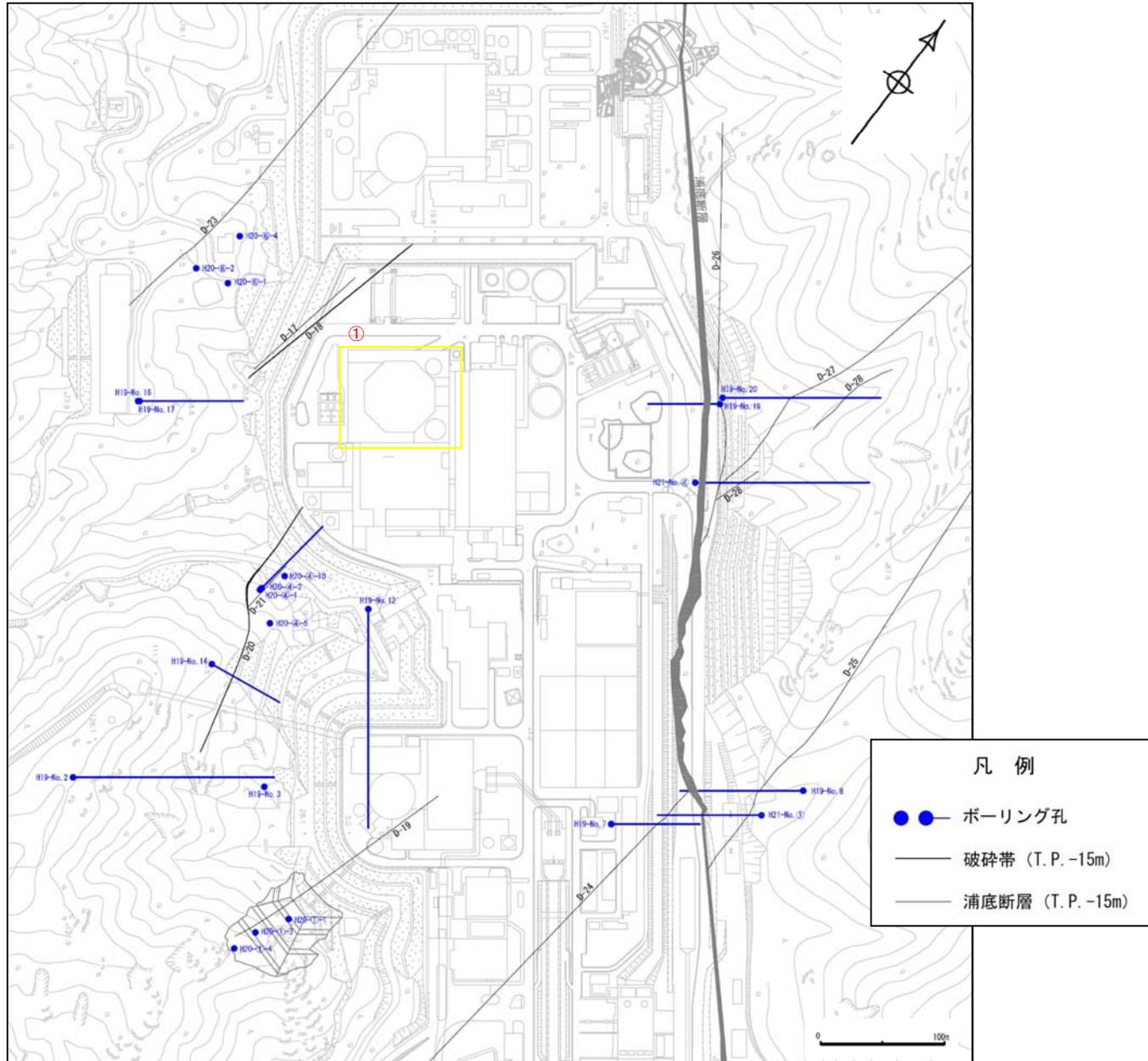
第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前



D-17~D-28破碎帯調査位置図

9. D-17~D-28破砕帯  
調査位置図

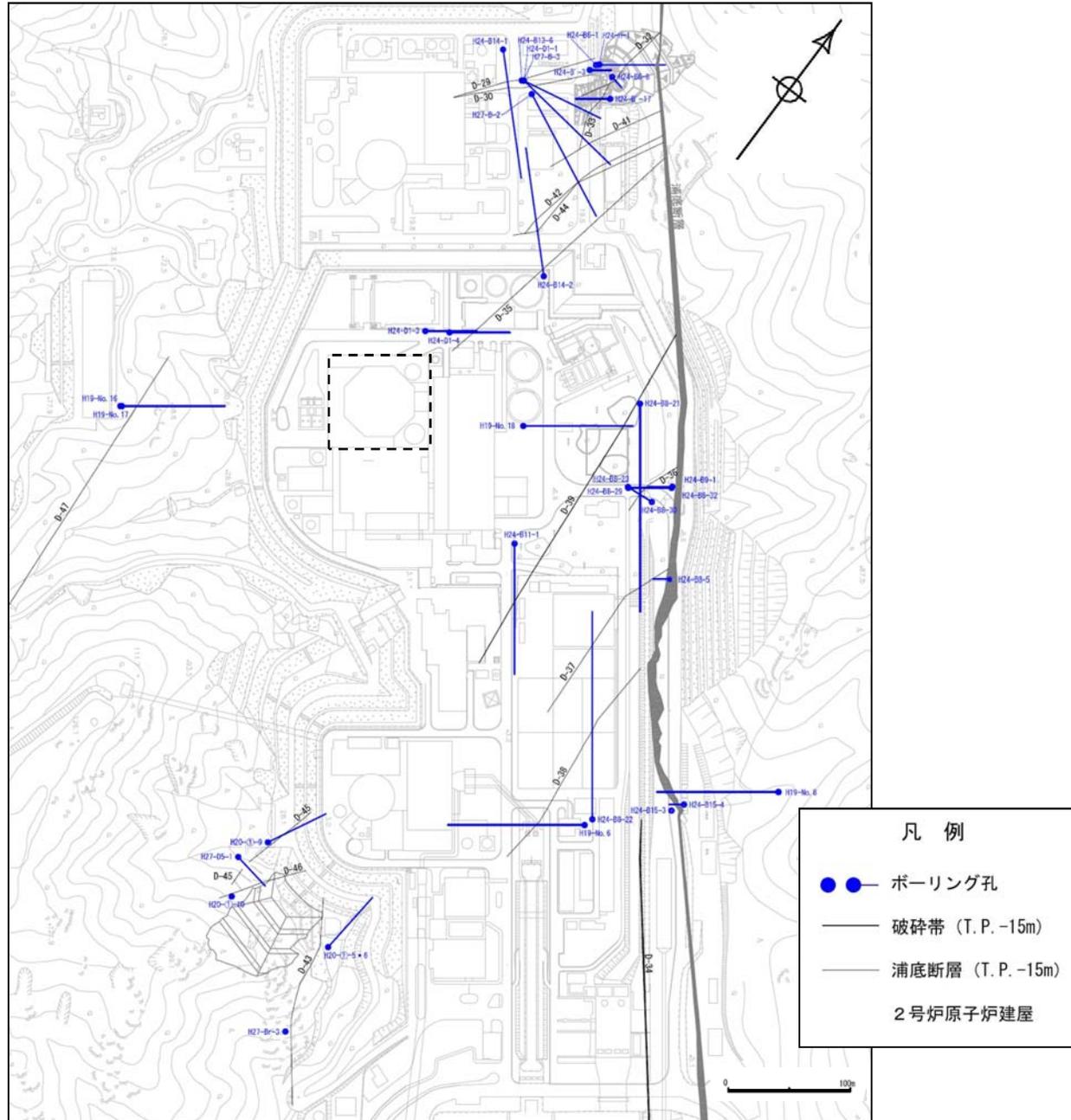
814(分類E)①  
調査位置図の不要な破線を消し忘れたもの。



D-17~D-28破砕帯調査位置図

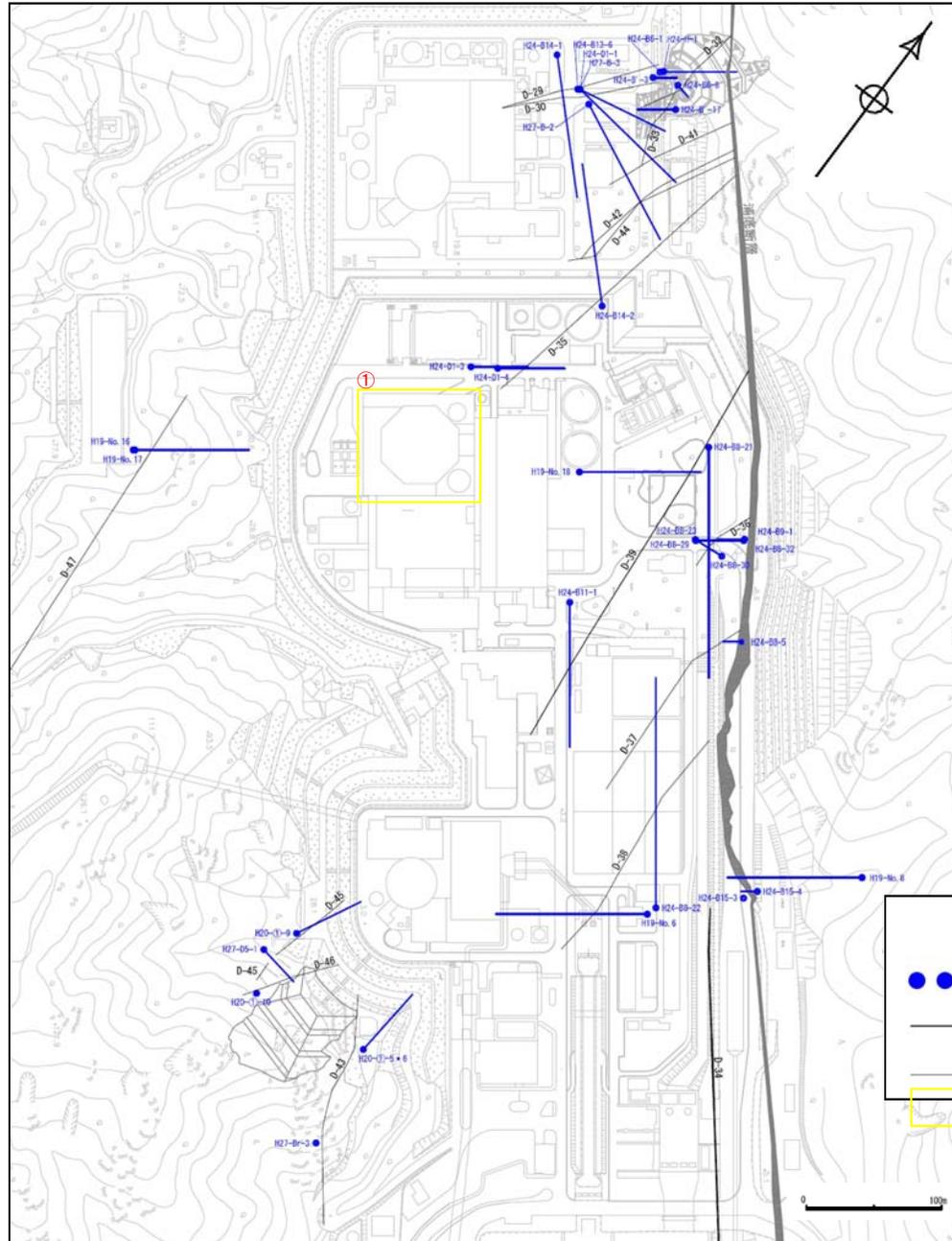
10. D-29~D-47破碎帯  
調査位置図

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前



D-29~D-47破碎帯調査位置図

10. D-29~D-47破碎帯  
調査位置図



815 (分類E) ①  
調査位置図の不要な破線を消し忘れたもの。

816 (分類E) ②  
凡例の不要な記載を消し忘れたもの。

凡 例	
●	ボーリング孔
—	破碎帯 (T. P. -15m)
—	浦底断層 (T. P. -15m)

②

D-29~D-47破碎帯調査位置図

12.f-①-1-3~f-④-13破碎帯  
性状一覽表(17/17)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ・断層角線の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真		
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭なせん断構造変形構造	平滑さ		鉛直	水平			
f-④-9	H21-No.④ (傾斜45°)	65.30	65.65	N16E	80E	8.7	フィルム状	無	-	11R	-	-	65		66
f-④-10	H21-No.④ (傾斜45°)	68.18	68.24	N39W	78E	3.3	3.3	有	非平滑	33R	-	-	68		69
f-④-11	H21-No.④ (傾斜45°)	109.57	110.65	N44W	76E	55.0	0.4	無	-	-	正	左	109 110		110 111
f-④-12	H21-No.④ (傾斜45°)	166.29	167.39	N20E	90	41.7	0.4	有	非平滑	80R	西上り	右	166 167		167 168
f-④-13	H21-No.④ (傾斜45°)	172.34	172.53	N19E	69W	10.0	フィルム状	有	非平滑	19R	-	-	172		173

凡 例

 :最新活動面  
  :破碎幅  
  :断層ガウジ  
  :粘土の狭在物が認められる箇所  
 \*1:露頭  
 \*2:試掘坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3~f-④-13破碎帯  
性状一覽表(17/17)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ-断層角種の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真		
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭なせん断構造	平滑さ		鉛直	水平			
f-④-9	H21-No.④ (傾斜45°)	65.30	65.65	N16E	80E	8.7	フィルム状	無	-	11R	-	-	65		
f-④-10	H21-No.④ (傾斜45°)	68.18	68.24	N39W	78E	3.3	3.3	有	非平滑	33R	-	-	68		
f-④-11	H21-No.④ (傾斜45°)	109.57	110.65	N44W	76E	55.0	0.4	無	-	-	正	左	109 110		
f-④-12	H21-No.④ (傾斜45°)	166.29	167.39	N20E	90	41.7	0.4	有	非平滑	80R	①	西上り	-	166 167	
f-④-13	H21-No.④ (傾斜45°)	172.34	172.53	N19E	69W	10.0	フィルム状	有	非平滑	19R	-	-	172		

817(分類A)①  
変位センスについて、転記元の細分化カタログから転記したが、転記を誤ったもの。



【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H-1~f-b-4-6破碎帯  
性状一覽表(2/13)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断面ガウジ・ 断面角線の 幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写 真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)					明瞭な せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
H-3b	試験坑	-	-	N25E	65W	25.0	10.0	-	-	-	-	-	  <p>幅 20~50 mm の灰白~淡黄色粘土と幅 20~30 mm の淡黄褐色粘土および暗褐色(チョコレート)粘土。さらに灰白色砂状~小角礫状部とからなる幅 5~30 cm の破碎帯。条線の方向 N30°W / N54°P (H-3b) 下盤側 ~ 中央部で、明瞭な幅 60 mm の粘土を伴う。条線の方向 N30°W / N54°P</p>
H-3b(s)	2号機道路	-	-	N16E	75W	10.0	-	-	-	10L	-	左	 

凡 例

 : 最新活動面   
  : 破碎幅   
  : 断面ガウジ   
  : 粘土の狭在物が認められる箇所   
 \*1: 露頭   
 \*2: 試験坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部  
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H-1~f-b-4-6破碎帯  
性状一覽表(2/13)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

818(分類E)①  
破碎帯名について、仮名称を変更し忘れたもの。

①

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ・断層角線の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写 真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭なせん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
H-3b	試験坑	-	-	N25E	65W	25.0	10.0	-	-	-	-	-	  <p>幅 20~50 mm の灰白~淡黄色粘土と幅 20~30 mm の淡黄褐色粘土および暗褐色(チョコレート)粘土、ならびに灰白色砂状~小角礫状部とからなる幅 5~30 cm の破碎帯。条線の方向 N30°W / N54°P (H-3b) 下盤側 ~ 中央部で、明瞭な幅 60 mm の粘土を伴う。条線の方向 N30°W / N54°P</p>
	2号機道路	-	-	N16E	75W	10.0	-	-	-	10L	-	左	 

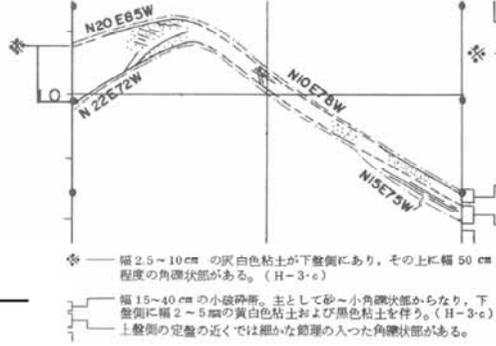
凡 例			
	: 最新活動面		: 破碎幅
	: 断層ガウジ		: 粘土の狭在物が認められる箇所
	*1: 露頭		*2: 試験坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H-1~f-b-4-6破碎帯  
性状一覽表(3/13)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断面ガウジ 断面角種の 幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭な せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
H-3c	H27-B-3 (傾斜45°)	76.59	76.89	-	-	23.6	0.1	有	非平滑	35R	正	左	76  77
	試掘坑	-	-	N8E	70W	30.0	4.0	-	-	-	-	-	  <p>※ 幅 2.5~10 cm の灰白色粘土が下盤側にあり、その上に幅 50 cm 程度の角礫状部がある。(H-3・c)</p> <p>幅 15~40 cm の小破砕部。主として砂~小角礫状部からなり、下盤側に幅 2~5 cm の黄白色粘土および黒色粘土を伴う。(H-3・c)</p> <p>上盤側の定盤の近くでは細かな節理の入った角礫状部がある。</p>
H-3c(a)	2号機道路	-	-	N5E	85W	5.0	フィルム状	無	-	28L	正	右	 

凡 例	
	:最新活動面
	:破碎幅
	:断面ガウジ
	:粘土の挟在物が認められる箇所
*1	:露頭
*2	:試掘坑

【破碎幅】  
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、  
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部  
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H-1~f-b-4-6破碎帯  
性状一覧表(3/13)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

819(分類E)①  
破碎帯名について、仮名称を変更し忘れたもの。

①

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	新層ガウジ・ 断面角礫の 幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写真	
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平		
H27-B-3 (傾斜45°)		76.59	76.89	-	-	23.6	0.1	有	非平滑	35R	正	左	76	
試掘坑		-	-	N8E	70W	30.0	4.0	-	-	-	-	-	-	
H-3c														
2号横道路		-	-	N5E	85W	5.0	フィルム状	無	-	28L	正	右		

凡 例	
	:最新活動面
	:破碎幅
	:断層ガウジ
	:粘土の狭在物が認められる箇所
*	1:露頭
*	2:試掘坑

【破碎幅】  
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、  
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部  
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-168

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(1/12)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

断面図上の番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ断層角縁の幅 (cm)	最新活動面		変位センス	鉛直	水平	写真	
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造	平滑さ					
②	H19-No.2	24.38	24.46	-	-	6.5	0.2	無	-	-	-	-	24	25
④	H19-No.2	44.90	45.75	N40E	20W	78.8	0.3	無	-	-	-	-	44	45
													45	46
⑤	H19-No.4	84.25	84.33	-	-	6.0	3.0	無	-	-	-	-	84	85
①	H19-No.5	92.63	92.65	(未測定)	-	1.5	-	-	-	-	-	-	92	93
②	H19-No.5	96.46	96.49	(未測定)	-	3.5	フィルム状	有	非平滑	-	-	-	96	97
③	H19-No.5	110.93	110.95	(未測定)	-	2.0	-	-	-	-	-	-	110	111
①	H19-No.10	28.46	28.53	(未測定)	-	2.0	0.1	無	-	-	-	-	28	29
②	H19-No.10	39.09	39.14	(未測定)	-	4.0	0.1	無	-	-	-	-	39	40

凡 例

:最新活動面   
 :破碎幅   
 :断層ガウジ   
 :粘土の狭在物が認められる箇所   
 \*1:露頭   
 \*2:試掘坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯  
性状一覧表(1/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

820~827(分類E)①  
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが、記載を忘れたもの。  
828(分類E)②  
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

- ・ 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- ・ なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

断面図上の 番号	確認 箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ 断層角線の 幅 (cm)	最新活動面		変位センス 鉛直 水平	写 真		
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造	平滑さ				
②	H19-No.2 (傾斜42°)	24.38	24.46	-	-	6.5	0.2	無	-	-	24		25
④	H19-No.2 (傾斜42°)	44.90	45.75	N40E	26W	78.8	0.3	無	-	-	44 45		45 46
⑨	H19-No.4 (傾斜45°)	84.25	84.33	-	-	6.0	3.0	無	-	-	84		85
①	H19-No.5 (鉛直)	92.63	92.65	(未測定)		1.5	-	-	-	-	92		93
②	H19-No.5 (鉛直)	96.46	96.49	(未測定)		3.5	フィルム状	有	非平滑	-	96		97
③	H19-No.5 (鉛直)	110.93	110.95	(未測定)		2.0	-	-	-	-	110		111
①	H19-No.10 (鉛直)	28.46	28.53	(未測定)		2.0	0.1	無	-	-	28		29
②	H19-No.10 (鉛直)	39.09	39.14	(未測定)		4.0	0.1	無	-	-	39		40

凡 例

:最新活動面   
 :破砕幅   
 :断層ガウジ   
 :粘土の狭在物が認められる箇所   
 \*1:露頭  
\*2:試掘坑

【破砕幅】  
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、  
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部  
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(2/12)

第657回審査会  
机上配付資料2 修正前

断面図上の番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ-断層角硬の幅 (cm)	最新活動面		変位センス	写真			
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造	変形構造			平滑さ	変位方向	鉛直
③	H19-No.10	73.62	73.63	(未測定)		1.0	1.0	無	-	-	-	73		74
①	H19-No.16	16.01	17.82	(未測定)		116.0	フィルム状	無	-	-	-	16		17
												17		18
⑦	H19-No.16	91.50	91.79	(未測定)		15.0	-	-	-	-	-	91		92
⑨	H19-No.16	113.66	113.77	(未測定)		3.9	1.5	無	-	-	-	113		114
⑩	H19-No.16	121.85	122.21	(未測定)		26.0	0.1	無	-	-	-	121		122
												122		123
⑪	H19-No.16	130.20	131.28	(未測定)		59.0	-	-	-	-	-	130		131
												131		132

凡 例

:最新活動面   
 :破碎幅   
 :断層ガウジ   
 :粘土の狭在物が認められる箇所   
 \*1:露頭  
 \*2:試掘坑

【破碎幅】  
 粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
 固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
 平滑：最新活動面が直線的なもの  
 非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(2/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

断面図上の番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ断層角種の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真	
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					②明瞭なせん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平		
③	H19-No.10 (鉛直)	73.62	73.63	(未測定)		1.0	1.0	無	-	-	-	-	73	74
①	H19-No.16 (鉛直)	16.01	17.82	(未測定)		116.0	フィルム状	無	-	-	-	-	16 17	17 18
⑦	H19-No.16 (鉛直)	91.50	91.79	(未測定)		15.0	-	-	-	-	-	-	91	92
⑨	H19-No.16 (鉛直)	113.66	113.77	(未測定)		3.9	1.5	無	-	-	-	-	113	114
⑩	H19-No.16 (鉛直)	121.85	122.21	(未測定)		26.0	0.1	無	-	-	-	-	121 122	122 123
⑪	H19-No.16 (鉛直)	130.20	131.28	(未測定)		59.0	-	-	-	-	-	-	130 131	131 132

829~834 (分類E) ①  
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが、記載を忘れたもの。

835 (分類E) ②  
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

凡 例

 :最新活動面  
  :破碎幅  
  :断層ガウジ  
  :粘土の狭在物が認められる箇所  
 \*1:露頭  
\*2:試験坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の  
合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(3/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前

断面図上の番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層方角・断層角の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
⑫	H19-No.16	133.70	136.00	(未測定)		115.0	0.2	無	-	-	-	-	133 134 135 136
⑬	H19-No.16	145.25	145.35	(未測定)		3.0	-	-	-	-	-	-	145
⑭	H19-No.16	199.22	200.00	(未測定)		14.0	-	-	-	-	-	-	199 200
⑮	H19-No.16	210.70	210.71	(未測定)		1.0	1.0	無	-	-	-	-	210 211
⑯	H19-No.17	55.45	55.46	N39E	52W	1.0	-	-	-	-	-	-	55 56
⑰	H19-No.17	61.89	62.22	N28E	50W	30.0	-	-	-	-	-	-	61 62 63
⑱	H19-No.17	144.35	144.37	N10E	65W	2.0	2.0	無	-	-	-	-	144 145

凡 例

:最新活動面   
 :破碎幅   
 :断層ガウジ   
 :粘土の狭在物が認められる箇所   
 \*1:露頭  
\*2:試掘坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯  
性状一覧表(3/12)

836~842(分類E)①  
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが、記載を忘れたもの。  
843(分類E)②  
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

断面図上の 番号	確認 箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層方ウツ 断層角線の 幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写 真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					平滑さ	鉛直		水平		
⑬	H19-No.16 (鉛直)	133.70	136.00	(未測定)		115.0	0.2	無	-	-	-	-	133 134 135 136
⑭	H19-No.16 (鉛直)	145.25	145.35	(未測定)		3.0	-	-	-	-	-	-	145
⑮	H19-No.16 (鉛直)	199.22	200.00	(未測定)		14.0	-	-	-	-	-	-	199 200
⑯	H19-No.16 (鉛直)	210.70	210.71	(未測定)		1.0	1.0	無	-	-	-	-	210
⑳	H19-No.17 (傾斜65°)	55.45	55.46	N39E	52W	1.0	-	-	-	-	-	-	55 56
㉑	H19-No.17 (傾斜65°)	61.89	62.22	N28E	50W	30.0	-	-	-	-	-	-	61 62 63
㉒	H19-No.17 (傾斜65°)	144.35	144.37	N10E	65W	2.0	2.0	無	-	-	-	-	144

凡 例

:最新活動面   
 :破砕幅   
 :断層ガウジ   
 :粘土の狭在物が認められる箇所   
 \*1:露頭  
 \*2:試掘坑

【破砕幅】  
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、  
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部  
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(4/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前

断面図上の番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層方角・断層角の幅 (cm)	最新活動面		変位センス	写真			
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造	平滑さ					
④	H19-No.18	155.72	155.75	N36E	76W	1.5	0.3	無	-	-	-	155		156
⑤	H19-No.18	164.15	164.25	N9E	78W	6.7	-	-	-	-	-	164		165
⑥	H19-No.18	169.62	169.63	N20E	89W	1.5	1.5	無	-	-	-	169		170
③	H19-No.19	22.44	22.46	N34W	72E	2.0	2.0	無	-	-	-	22		23
⑦	H19-No.19	168.28	168.32	-	-	3.0	0.3	無	-	-	-	168		169
①	H20-①-1	2.66	2.95	-	-	10.0	-	-	-	-	-	2		3
①	H20-①-2	11.73	11.91	-	-	17.0	7.0	無	-	-	-	11		12
①	H20-①-3	4.96	5.00	N83E	40N	2.5	0.2	無	-	-	-	4		5
②	H20-①-3	5.53	5.81	N11E	55W	18.0	-	-	-	-	-	5		6

凡 例

:最新活動面   
 :破碎幅   
 :断層ガウジ   
 :粘土の狭在物が認められる箇所   
 \*1:露頭  
\*2:試掘坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯  
性状一覧表(4/12)

844~852(分類E)①  
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが、記載を忘れたもの。  
853(分類E)②  
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

断面図上の 番号	確認 箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層方向・ 断層角種の 幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写真		
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭な せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平			
④	H19-No.18 (傾斜60°)	155.72	155.75	N36E	76W	1.5	0.3	無	-	-	-	-	155		156
⑤	H19-No.18 (傾斜60°)	164.15	164.25	N9E	78W	6.7	-	-	-	-	-	-	164		165
⑥	H19-No.18 (傾斜60°)	169.62	169.63	N20E	89W	1.5	1.5	無	-	-	-	-	169		170
③	H19-No.19 (傾斜70°)	22.44	22.46	N34W	72E	2.0	2.0	無	-	-	-	-	22		23
⑦	H19-No.19 (傾斜70°)	168.28	168.32	-	-	3.0	0.3	無	-	-	-	-	168		169
①	H20-(T)-1 (鉛直)	2.66	2.95	-	-	10.0	-	-	-	-	-	-	2		3
①	H20-(T)-2 (傾斜54°)	11.73	11.91	-	-	17.0	7.0	無	-	-	-	-	11		12
①	H20-(T)-3 (鉛直)	4.96	5.00	N83E	40N	2.5	0.2	無	-	-	-	-	4		5
②	H20-(T)-3 (鉛直)	5.53	5.81	N11E	55W	18.0	-	-	-	-	-	-	5		6

凡 例

:最新活動面   
 :破砕幅   
 :断層ガウジ   
 :粘土の狭在物が認められる箇所   
 \*1:露頭  
\*2:試掘坑

【破砕幅】  
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、  
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部  
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(5/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前

断面図上の番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ・断層角標の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
②	H20-①-5	34.37	34.70	N89W	58S	16.5	-	-	-	-	-	-	34 35
②	H20-①-6	14.78	15.13	N81W	65S	13.0	-	-	-	-	-	-	14 15 16
①	H20-④-4	24.56	24.59	N4E	71W	1.0	1.0	無	-	-	-	-	24 25

凡 例	
	:最新活動面
	:破碎幅
	:断層ガウジ
	:粘土の狭在物が認められる箇所
*1:	露頭
*2:	試掘坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部  
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(5/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

断面図上の 番号	確認 箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層方ウジ 断層角種の 幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写 真		
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭な せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平			
②	① H20-①-5 (鉛直)	34.37	34.70	N89W	58S	16.5	-	-	-	-	-	-	34		35
②	① H20-①-6 (傾斜50°)	14.78	15.13	N81W	65S	13.0	-	-	-	-	-	-	14 15		15 16
①	① H20-④-4 (鉛直)	24.56	24.59	N4E	71W	1.0	1.0	無	-	-	-	-	24		25

854~856(分類E)①  
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが、記載を忘れたもの。

857(分類E)②  
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。



【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部  
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(6/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前

断面図上の番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ・断層角標の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造	実形構造		平滑さ	鉛直	
①	H24-B8-15	34.65	35.72	N52E	72NW	79.5	2.0	有	非平滑	-	-	-	34 35 36
④	H24-B8-21	131.03	131.14	N3W	84W	8.7	-	-	-	20R	-	右	131 132
⑤	H24-B8-21	131.88	132.82	N1E	85W	52.6	0.4	無	-	65R	正	左	131 132 133
⑥	H24-B8-21	135.30	135.52	N58E	68S	12.9	1.5	無	-	10L	-	左	135 136
⑦	H24-B8-21	137.72	138.18	N4E	79W	41.7	0.5	無	-	0	-	左	137 138 139
②	H24-B8-23	30.87	31.32	N4W	81W	25.3	2.5	無	-	-	-	-	30 31 32

凡 例			
	:最新活動面		:破碎幅
	:断層ガウジ		:粘土の狭在物が認められる箇所
	*1:露頭		*2:試掘坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部  
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯  
性状一覧表(6/12)

858~863(分類E)①  
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが、記載を忘れたもの。  
864(分類E)②  
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

断面図上の 番号	確認 箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断面ガウジ 断層角種の 幅 ② (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					平滑さ	鉛直		水平		
①	H24-B8-15 (傾斜65°)	34.65	35.72	N52E	72NW	79.5	2.0	有	非平滑	-	-	-	34 35 35 36
④	H24-B8-21 (傾斜45°)	131.03	131.14	N3W	84W	8.7	-	-	-	20R	-	右	131 132
⑤	H24-B8-21 (傾斜45°)	131.88	132.82	N1E	85W	52.6	0.4	無	-	65R	正	左	131 132 132 133
⑥	H24-B8-21 (傾斜45°)	135.30	135.52	N58E	66S	12.9	1.5	無	-	10L	-	左	135 136
⑦	H24-B8-21 (傾斜45°)	137.72	138.18	N4E	79W	41.7	0.5	無	-	0	-	左	137 138 138 139
⑧	H24-B8-23 (傾斜65°)	30.87	31.32	N4W	81W	25.3	2.5	無	-	-	-	-	30 31 31 32

凡 例

:最新活動面   
 :破砕幅   
 :断層ガウジ   
 :粘土の狭在物が認められる箇所   
 \*1:露頭   
 \*2:試掘坑

【破砕幅】  
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、  
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部  
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(7/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前

断面図上の 番号	確認 箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ 断層角礫の 幅 (cm)	最新活動面		方位	変位センス		写 真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
③	H24-B8-27	88.55	89.17	N78W	20S	21.9	2.4	無	-	15L	-	右	88 89 89 90
②	H24-D8-28	25.44	20.11	N4W	09W	34.5	-	-	-	90	正	-	25 26 26 27
③	H24-B8-29	29.51	29.61	N15E	45E	2.0	-	-	-	-	-	-	29 30
①	H24-B8-30	24.60	25.04	N1E	81W	24.9	-	-	-	-	-	-	24 25 25 26
①	H24-B8-34	31.76	33.24	N11W	82E	62.6	4.0	無	-	-	-	-	31 32 32 33 33 34

凡 例

← :最新活動面    ← → :破碎幅     :断層ガウジ     :粘土の狭在物が認められる箇所    \*1:露頭  
 :試掘坑    \*2:試掘坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部  
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯  
性状一覧表(7/12)

865~869(分類E)①  
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが、記載を忘れたもの。

870(分類E)②  
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

断面図上の 番号	確認 箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ 断層角線の 幅 (cm)	最新活動面 明瞭な せん断構造 変形構造	平滑さ	柔線 方向	変位センス		写 真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)								鉛直	水平	
③	H24-B8-27 (傾斜45°)	88.55	89.17	N78W	20S	21.9	2.4	無	-	15L	-	右	88 89 89 90
②	H24-B8-29 (傾斜60°)	25.44	26.11	N4W	89W	34.5	-	-	-	90	正	-	25 26 26 27
③	H24-B8-29 (傾斜60°)	29.51	29.61	N15E	45E	2.0	-	-	-	-	-	-	29 29 30
①	H24-B8-30 (傾斜65°)	24.60	25.04	N1E	81W	24.9	-	-	-	-	-	-	24 25 25 26
①	H24-B8-34 (傾斜45°)	31.78	33.24	N11W	82E	62.6	4.0	無	-	-	-	-	31 32 32 33 33 34

凡 例	
	:最新活動面
	:破砕幅
	:断層ガウジ
	:粘土の狭在物が認められる箇所
*1:露頭	
*2:試掘坑	

【破砕幅】  
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、  
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部  
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(8/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前

断面図上の番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真		
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平			
②	H24-B8-35	32.68	32.71	N15W	81E	1.8	-	-	-	-	-	-	32		33
③	H24-B8-35	33.62	33.98	N21W	74E	18.0	6.1	無	-	-	-	-	33		34
①	H24-B8-36	24.19	27.68	N31E	88SE	60.6	0.5	無	-	-	-	-	24		25
													25		26
													26		27
													27		28
④	H24-B11-1	97.87	99.00	N4E	72W	77.1	2.5	無	-	70R	正	左	97		98
													98		99
⑤	H24-B11-1	143.67	143.77	N8E	87E	5.3	-	-	-	5L	-	右	143		144

凡 例

 :最新活動面  
  :破碎幅  
  :断層ガウジ  
  :粘土の狭在物が認められる箇所  
 \*1:露頭  
 \*2:試掘坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の  
合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(8/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

断面図上の 番号	確認 箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ・ 断層角様の 幅 (cm)	② 明瞭な せん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線 方向	変位センス		写 真	
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)								鉛直	水平		
②	① H24-B8-35 (傾斜50°)	32.68	32.71	N15W	81E	1.8	-	-	-	-	-	-	32	33
③	① H24-B8-35 (傾斜50°)	33.62	33.98	N21W	74E	18.0	6.1	無	-	-	-	-	33	34
①	① H24-B8-36 (傾斜70°)	24.19	27.68	N31E	88SE	60.6	0.5	無	-	-	-	-	24 25 26 27	25 26 27 28
④	① H24-B11-1 (傾斜45°)	97.87	99.00	N4E	72W	77.1	2.5	無	-	70R	正	③	97	98 99
⑤	① H24-B11-1 (傾斜45°)	143.67	143.77	N8E	87E	5.3	-	-	-	5L	-	右	143	144

871~875(分類E)①  
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが、記載を忘れたもの。

876(分類E)②  
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

877(分類A)③  
変位センスについて、転記元の細分化カタログから転記したが、転記を誤ったもの。

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部  
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(9/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前

断面図上の番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ断層角種の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造	実形構造		平滑さ	鉛直	
⑥	H24-B14-1	70.54	71.41	N19E	85W	58.2	-	-	-	40R	正	左	70 71 72
⑦	H24-B14-1	76.94	77.03	N7E	74E	4.5	-	-	-	-	-	-	76 77 78
⑧	H24-B14-1	82.59	83.71	N25E	85W	65.6	-	-	-	60R	正	左	82 83 84
⑨	H24-B14-1	133.38	134.77	N38E	74SE	40.6	1.2	無	-	-	-	-	133 134 135
⑩	H24-B14-2	47.37	47.40	N38E	85NW	2.3	1.0	無	-	40R	-	右	47 48

凡 例

 :最新活動面  
  :破碎幅  
  :断層ガウジ  
  :粘土の狭在物が認められる箇所  
 \*1:露頭  
 \*2:試掘坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(9/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

断面図上の 番号	確認 箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ・ 断層角標の 幅② (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写 真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					平滑さ	鉛直		水平		
⑥	① H24-B14-1 (傾斜45°)	70.54	71.41	N19E	85W	58.2	-	-	-	40R	正	左	70 71 72
⑦	① H24-B14-1 (傾斜45°)	76.94	77.03	N7E	74E	4.5	-	-	-	-	-	-	76 77 78
⑧	① H24-B14-1 (傾斜45°)	82.59	83.71	N25E	85W	65.8	-	-	-	60R	正	左	82 83 84
⑨	① H24-B14-1 (傾斜45°)	133.38	134.77	N38E	74SE	40.6	1.2	無	-	-	-	-	133 134 135
③	① H24-B14-2 (傾斜45°)	47.37	47.40	N38E	85NW	2.3	1.0	無	-	40R	逆	右	47

878~882(分類E)①  
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが、記載を忘れたもの。

883(分類E)②  
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

884(分類A)③  
変位センスについて、転記元の細分化カタログから転記したが、転記を誤ったもの。

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部  
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(10/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前

断面図上の 番号	確認 箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ 断層角の 幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写 真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造 実形構造	平滑さ		鉛直	水平	
①	H27-Br-3	40.53	41.10	N51E	73NW	16.7	4.1	無	-	-	-	-	40 41 41 42
①	H27-Br-4	12.91	13.24	N8E	68W	33.0	-	-	-	-	-	-	12 13 13 14
②	H27-Br-8	65.81	67.33	N23E	56W	85.0	-	-	-	-	-	-	65 66 66 67 67 68
①	H27-Br-9	21.26	21.33	N45E	63NW	3.2	0.9	無	-	-	-	-	21 21 22
②	H27-Br-9	66.50	66.77	N48E	77NW	6.1	0.9	無	-	-	-	-	66 66 67

凡 例

 :最新活動面   
  :破碎幅   
  :断層ガウジ   
  :粘土の狭在物が認められる箇所   
 \*1:露頭  
\*2:試掘坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部  
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(10/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

断面図上の 番号	確認 箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断面ガウジ・ 断層角線の 幅		最新活動面		条線 方向	変位センス		写 真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)				② せん断構造 変形構造	平滑さ	鉛直	水平				
①	H27-Br-3 (鉛直)	40.53	41.10	N51E	73NW	18.7	4.1	無	-	-	-	-	-	40 41 41 42
①	H27-Br-4 (鉛直)	12.91	13.24	N8E	68W	33.0	-	-	-	-	-	-	-	12 13 13 14
②	H27-Br-8 (鉛直)	65.81	67.33	N23E	56W	85.0	-	-	-	-	-	-	-	65 66 66 67 67 68
①	H27-Br-9 (鉛直)	21.26	21.33	N45E	63NW	3.2	0.9	無	-	-	-	-	-	21 22
②	H27-Br-9 (鉛直)	66.50	66.77	N48E	77NW	6.1	0.9	無	-	-	-	-	-	66 67

885～889(分類E)①  
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが、記載を忘れたもの。

890(分類E)②  
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

凡 例					
	:最新活動面		:破碎幅		:断層ガウジ
	:粘土の狭在物が認められる箇所		*1:露頭		*2:試掘坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部  
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(11/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ・断層角標の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真		
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造	平滑さ		鉛直	水平			
①	H27-B-2	31.15	31.66	N7E	78W	43.1	1.0	無	-	80L	正	-	31		32
②	H27-B-2	34.37	34.48	N18E	46W	10.8	0.6	無	-	0	-	左	34		35
③	H27-B-2	35.36	35.46	N69E	79N	8.7	1.5	無	-	10R	-	右	35		36
④	H27-B-2	35.68	35.73	N7W	52W	4.1	0.2	無	-	70R	正	-	35		36
⑤	H27-B-2	35.92	35.95	N4E	86E	2.3	-	-	-	50L	逆	左	35		36
⑥	H27-B-2	48.08	48.12	N38W	15NE	3.1	0.5	無	-	0	-	右	48		49
⑦	H27-B-2	54.72	54.77	N6W	79W	4.2	0.3	無	-	0	-	左	54		55
⑧	H27-B-2	60.26	60.69	N18E	77W	36.5	-	-	-	60R	逆	-	60		61
⑨	H27-B-2	63.75	63.85	N47W	24E	8.0	-	-	-	-	-	-	63		64

凡 例

:最新活動面   
 :破碎幅   
 :断層ガウジ   
 :粘土の狭在物が認められる箇所   
 \*1:露頭  
 \*2:試掘坑

【破碎幅】  
 粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
 固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部  
 の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
 平 滑：最新活動面が直線的なもの  
 非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覧表(11/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正後

① 断面図上の 番号	確認 箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断面角線の 幅 (cm)	④ 最新活動面		条線 方向	変位センス		写 真	
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭な せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平		
①	② H27-B-2 (傾斜45°)	31.15	31.66	N7E	78W	43.1	1.0	無	-	80L	正	-	31	32
②	② H27-B-2 (傾斜45°)	34.37	34.48	N18E	46W	10.8	0.6	無	-	0	-	左	34	35
③	② H27-B-2 (傾斜45°)	35.36	35.46	N69E	79N	8.7	1.5	無	-	10R	-	右	35	36
④	② H27-B-2 (傾斜45°)	35.68	35.73	N7W	52W	4.1	0.2	無	-	70R	正	-	35	36
⑤	② H27-B-2 (傾斜45°)	35.92	35.95	N4E	86E	2.3	-	-	-	50L	逆	左	35	36
⑥	② H27-B-2 (傾斜45°)	48.08	48.12	N38W	15NE	3.1	0.5	無	-	0	-	右	48	49
⑦	② H27-B-2 (傾斜45°)	54.72	54.77	N8W	79W	4.2	0.3	無	-	0	-	左	54	55
⑧	② H27-B-2 (傾斜45°)	60.26	60.69	N18E	77W	36.5	-	-	-	60R	逆	③ 右	60	61
⑨	② H27-B-2 (傾斜45°)	63.75												64

891(分類E)①  
書式を転用した際に正しい項目名への修正を失念した。

892~899, 901(分類E)②  
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが、記載を忘れたもの。

900(分類A)③  
変位センスについて、転記元の細分化カタログから転記したが、転記を誤ったもの。

902(分類E)④  
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

↖ :最新活動面

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部  
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破碎帯  
性状一覽表(12/12)

第657回審査会合  
机上配付資料2 修正前

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ・断層角錐の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真	
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造変形構造	平滑さ		鉛直	水平		
⑪	H27-B-2	68.02	68.06	N23E	74W	3.5	0.2	無	-	90	正	-	68	69
⑫	H27-B-2	85.58	85.76	N15E	82W	14.4	0.5	無	-	60L	正	-	85	86
⑬	H27-B-2	91.69	91.76	NSW	82W	5.7	0.8	無	-	30R	-	右	91	92
⑭	H27-B-2	120.63	120.65	N34E	77NW	1.7	0.3	無	-	30L	-	左	120	121
⑮	H27-B-2	133.75	133.92	N1E	72E	15.4	0.1	無	-	-	-	-	133	134

凡 例

:最新活動面  
 :破碎幅  
 :断層ガウジ  
 :粘土の狭在物が認められる箇所  
 \*1:露頭  
 \*2:試掘坑

【破碎幅】  
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、  
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部  
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平滑：最新活動面が直線的なもの  
非平滑：最新活動面が湾曲するもの









柱状図(30.00m～60.00m)

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正後

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事
50			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	16	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>32.40～32.67m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。</li> <li>35.14～35.74m ・風化部である。</li> <li>37.52～37.89m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。</li> <li>38.10～38.27m (f-b14-2-2破砕帯) ・破砕部である。</li> <li>・淡黄白色の固結礫状部からなる。</li> <li>・走向・傾斜はN58° E88° Sである。</li> <li>・フイルム状の粘土を挟在する。</li> <li>・上端境界の傾斜は40°、下端境界の傾斜は50°である。</li> <li>42.13～42.71m</li> <li>43.51～45.20m ・強風化部である。</li> <li>45.90～47.37m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。</li> <li>●47.37～47.40m ・破砕部である-①</li> <li>・右すれ逆断層セツスである。</li> <li>・主に褐色の固結礫状部からなる。</li> <li>・灰白色の未固結粘土状部：累計幅1.0cm</li> <li>・走向・傾斜はN38° E85° NWである。</li> <li>●49.24～49.55m (D-44破砕帯) ・破砕部である。</li> <li>・正断層セツスである。</li> <li>・主に緑灰色の固結礫状部からなる。</li> <li>・灰色の未固結粘土状部：累計幅2.5cm</li> <li>・走向・傾斜はN44° E80° Eである。</li> <li>50.50～51.43m ・コア欠(ボアホールカメラで破砕部がないことを確認)。</li> <li>52.92～53.33m ・強風化部である。</li> <li>53.33～53.36m ・変質している。</li> <li>・灰白色の煤混じり粘土状～粘土混じり礫状を呈する。</li> </ul>	
						CL'	100	13	13		
						明褐灰	100	15	26		
						明褐灰	100	9	0		
						明褐灰	100	6	0		
						明褐灰	100	9	0		
						明褐灰	100	9	0		
						明褐灰	100	6	0		
						明褐灰	100	0	0		
						明褐灰	100	0	0		
						明褐灰	100	5	0		
						明褐灰	100	5	0		
						明褐灰	100	10	10		
						明褐灰	100	5	0		
						明褐灰	100	13	13		
						明褐灰	100	16	16		
						明褐灰	100	5	0		
						明褐灰	100	3	0		
						明褐灰	100	5	0		
						明褐灰	100	0	0		
明褐灰	100	0	0								
明褐灰	100	0	0								
明褐灰	100	7	0								
明褐灰	100	12	12								
明赤灰	100	5	0								
明赤灰	100	19	19								
明赤灰	100	4	0								
明赤灰	100	12	12								
明赤灰	100	3	0								

914(分類A)①  
変位セツスについて、転記元の細分化カタログから転記したが、転記を誤ったもの。





柱状図(60.00m～90.00m)

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正前

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	記 事
70			+	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	1	0	0.20 40 60 80 100	<ul style="list-style-type: none"> <li>●50.12～60.15m (D-1破砕帯)</li> <li>・破砕部である。</li> <li>・正断層センスである。礫状部からなる。</li> <li>・主にぶい黄橙色の固結礫状部からなる。</li> <li>・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm</li> <li>・走向・傾斜はN9° E88° Wである。</li> </ul>
						CL'	100	10	10		
80			+	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●58.84～69.00m</li> <li>・破砕部である。</li> <li>・面上がり及び西下がりセンスである。</li> <li>・灰白色の固結礫状部からなる。</li> <li>・走向・傾斜はN31° W72° NEである。</li> </ul>	
						CL'	100	11	21		
						D'	100	4	0		
						D'	100	3	0		
						D'	100	3	0		
						D'	100	3	0		
						D'	100	2	0		
						D'	100	4	0		
						D'	100	3	0		
						D'	100	4	0		
80			+	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●78.77～79.19m</li> <li>・破砕部である。</li> <li>・右すれ逆断層センスである。</li> <li>・明オリーツ灰～褐灰色の固結礫状部からなる。</li> <li>・走向・傾斜はN4° E78° Eである。</li> <li>・トライルム状の粘土を挟む。</li> <li>80.08～81.00m</li> <li>・割れ目が多く、角礫状を呈する。</li> <li>●81.20～81.42m</li> <li>・破砕部である。</li> <li>・左すれセンスである。</li> <li>・主にぶい黄橙色の固結礫状部からなる。</li> <li>・灰赤色の未固結粘土状部：累計幅0.4cm</li> <li>・走向・傾斜はN29° W79° Wである。</li> <li>87.14～88.35m</li> <li>・割れ目が多く、角礫状を呈する。</li> </ul>	
						CL'	100	5	0		
						D'	100	3	0		
						D'	100	3	0		
						D'	100	5	0		
						D'	100	5	0		
						D'	100	6	0		
						D'	100	6	0		
						D'	100	8	0		
						D'	100	9	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	11	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>●89.91～89.95m (D-33破砕帯)</li> <li>・破砕部である。</li> <li>・右すれ正断層センスである。</li> <li>・明赤灰色の未固結礫状部及び明赤灰色の未固結粘土状部からなる。</li> <li>・明赤灰色の未固結礫状部：累計幅0.2cm</li> <li>・明赤灰色の未固結粘土状部：累計幅1.8cm</li> <li>・走向・傾斜はN22° W80° Eである。</li> </ul>	
						CL'	100	6	0		
					明褐灰	D'	100	4	0		

柱状図(60.00m～90.00m)

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正後

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	記事
70			+	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	1	0	0	●
						CL'	100	2	0		
80			+	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	5	0	0	●
						CL'	100	6	0		
						D'	100	10	10		
						CL'	100	10	10		
						D'	100	6	0		
						CL'	100	6	0		
						D'	100	11	21		
						CL'	100	4	0		
						D'	100	3	0		
						CL'	100	4	0		
87.14~88.35m			+	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	3	0	0	●
						CL'	100	3	0		
						D'	100	4	0		
						CL'	100	2	0		
						D'	100	4	0		
						CL'	100	5	0		
						D'	100	5	0		
						CL'	100	6	0		
						D'	100	8	0		
						CL'	100	9	0		
89.91~89.95m (D-33破砕帯)			+	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	11	11	0	●
						CL'	100	6	0		

917(分類A)①  
変位セメントについて、転記元の細分化カタログから転記したが、転記を誤ったもの。

柱状図(30.00m~60.00m)

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正前

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率(%)	最大コア長(cm)	R <sub>D</sub> Q <sub>D</sub> D <sub>D</sub> (%)	コア採取率(%) 最大コア長(cm) R <sub>D</sub> Q <sub>D</sub> D <sub>D</sub> [%]	記 事
m	m	m	+	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	4	0	0	31.05~31.23m ・変質している。 ・白色粘土状を呈する。
					明褐灰 (黄褐色)	CL'	100	3	0	31.70~32.20m ・割れ目沿いに砂状を呈し、砂混じり岩片状を呈する。	
m	m	m	+	明褐灰	明褐灰 (黄褐色)	D'	100	6	0	0	33.40m ・割れ目沿いに幅20mm砂状を呈する。
					明褐灰 (黄褐色)	CL'	100	4	0	0	34.54~34.59m ・破碎部である。
m	m	m	+	明褐灰	明褐灰 (黄褐色)	D'	100	9	0	0	左ずれセンスである。
					明褐灰 (黄褐色)	CL'	100	7	0	0	主ににぶい黄褐色の固結礫状部からなる。 ・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.4cm
m	m	m	+	明褐灰	明褐灰 (黄褐色)	D'	100	5	0	0	走向・傾斜はN25° E46° Wである。 ・上端境界の傾斜は10°~40°、下端境界の傾斜は11°である。
					明褐灰 (黄褐色)	CL'	100	4	0	0	35.37~37.15m ・著しく軟質化している。
m	m	m	+	明褐灰	明褐灰 (黄褐色)	D'	100	8	0	0	37.80m ・割れ目沿いに、砂状を呈する。
					明褐灰 (黄褐色)	CL'	100	4	0	0	40.32~40.77m ・砂礫状を呈する。
m	m	m	+	明褐灰	明褐灰 (黄褐色)	D'	100	2	0	0	42.24~42.28m ・変質している。
					明褐灰 (黄褐色)	CL'	100	2	0	0	42.41~42.49m ・淡黄色粘土状を呈する。
m	m	m	+	明褐灰	明褐灰 (黄褐色)	D'	100	1	0	0	・破碎部である。
					明褐灰 (黄褐色)	CL'	100	1	0	0	右ずれ正断層センスである。
m	m	m	+	明褐灰	明褐灰 (黄褐色)	D'	100	2	0	0	主ににぶい黄褐色の未固結粘土状部からなる。 ・にぶい黄褐色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm
					明褐灰 (黄褐色)	CL'	100	1	0	0	走向・傾斜はN65° W36° NEである。 ・上端境界の傾斜は63°、下端境界の傾斜は18°である。
m	m	m	+	明褐灰	明褐灰 (黄褐色)	D'	100	1	0	0	44.24~44.53m ・破碎部である。
					明褐灰 (黄褐色)	CL'	100	5	0	0	主に灰褐色の固結礫状部からなる。 ・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm 走向・傾斜はN1° E89° Wである。 ・上端境界の傾斜は5°~13°、下端境界の傾斜は70°である。
m	m	m	+	明褐灰	明褐灰 (黄褐色)	D'	100	1	0	0	44.53~44.83m ・破碎部である。
					明褐灰 (黄褐色)	CL'	100	7	0	0	左ずれセンスである。
m	m	m	+	明褐灰	明褐灰 (黄褐色)	D'	100	2	0	0	主ににぶい橙色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結礫状部：累計幅1.2cm ・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm 走向・傾斜はNS66° Eである。 ・上端境界の傾斜は70°、下端境界の傾斜は75°~85°である。
					明褐灰 (黄褐色)	CL'	100	4	0	0	45.36~45.39m ・破碎部である。
m	m	m	+	明褐灰	明褐灰 (黄褐色)	D'	100	5	0	0	右ずれ正断層センスである。
					明褐灰 (黄褐色)	CL'	100	6	0	0	主ににぶい橙色の固結礫状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm 走向・傾斜はN43° E70° SEである。 ・上端境界の傾斜は62°、下端境界の傾斜は65°である。
m	m	m	+	明褐灰	明褐灰 (黄褐色)	D'	100	2	0	0	46.12~46.17m ・破碎部である。
					明褐灰 (黄褐色)	CL'	100	5	0	0	主に淡黄色の固結礫状部からなる。 ・黒褐色の未固結粘土状部：累計幅1.0cm 走向・傾斜はN14° E79° Wである。 ・上端境界の傾斜は31°、下端境界の傾斜は35°~70°である。

柱状図(30.00m～60.00m)

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正後

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	記 事
					明褐色 にぶい黄褐色	D'	100	4	0	0	31.05～31.23m ・変質している。 ・白色粘土状を呈する。
					明褐色 にぶい黄褐色	CL'	100	3	0	0	31.70～32.20m ・割れ目沿いに砂状を呈し、砂混じり岩片状を呈する。
					明褐色 にぶい黄褐色	D'	100	6	0	0	
					明褐色 にぶい黄褐色	CL'	100	14	14	14	
					明褐色 にぶい黄褐色	D'	100	4	0	0	割れ目沿いに幅20mm砂状を呈する。
					明褐色 にぶい黄褐色	CL'	100	4	0	0	33.40m ●34.54～34.59m ・破砕部である。
					明褐色 にぶい黄褐色	D'	100	9	0	0	左すれ逆断層センスである。① ・主ににぶい黄褐色の固結礫状部からなる。 ・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.40m ・走向・傾斜はN25° E46° Wである。 ・上端境界の傾斜は10°～40°、下端境界の傾斜は11°である。
					明褐色 にぶい黄褐色	D'	100	8	0	0	35.37～37.15m ・著しく軟質化している。
					明褐色 にぶい黄褐色	CL'	100	4	0	0	37.80m ・割れ目沿いに、砂状を呈する。
					明褐色 にぶい黄褐色	D'	100	2	0	0	40.32～40.77m ・砂礫状を呈する。
					明褐色 にぶい黄褐色	CL'	100	2	0	0	42.24～42.28m ・変質している。 ・淡黄色粘土状を呈する。
					明褐色 にぶい黄褐色	D'	100	1	0	0	●42.41～42.49m ・破砕部である。
					明褐色 にぶい黄褐色	CL'	100	1	0	0	右すれ正断層センスである。 ・主ににぶい黄褐色の固結礫状部からなる。
					明褐色 にぶい黄褐色	D'	100	2	0	0	・にぶい黄褐色の未固結粘土状部：累計幅1.50m
					明褐色 にぶい黄褐色	CL'	100	1	0	0	走向・傾斜はN65° W36° NEである。 ・上端境界の傾斜は63°、下端境界の傾斜は18°である。
					明褐色 にぶい黄褐色	D'	100	4	0	0	●44.24～44.53m ・破砕部である。
					明褐色 にぶい黄褐色	CL'	100	6	0	0	左すれセンスである。 ・主に灰褐色の固結礫状部からなる。
					明褐色 にぶい黄褐色	D'	100	5	0	0	・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.20m ・走向・傾斜はN1° E89° Wである。
					明褐色 にぶい黄褐色	CL'	100	2	0	0	・上端境界の傾斜は5°～13°、下端境界の傾斜は70°である。
					明褐色 にぶい黄褐色	D'	100	3	0	0	●44.53～44.83m ・破砕部である。① ・左すれ逆断層センスである。
					明褐色 にぶい黄褐色	CL'	100	7	0	0	・主ににぶい橙色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結礫状部：累計幅1.20m ・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.50m ・走向・傾斜はNS66° Eである。
					明褐色 にぶい黄褐色	D'	100	5	0	0	・上端境界の傾斜は70°、下端境界の傾斜は75°～85°である。
					明褐色 にぶい黄褐色	CL'	100	6	0	0	●45.36～45.39m ・破砕部である。
					明褐色 にぶい黄褐色	D'	100	2	0	0	・右すれ正断層センスである。
					明褐色 にぶい黄褐色	CL'	100	5	0	0	・主ににぶい橙色の未固結礫状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.20m ・走向・傾斜はN43° E70° SEである。
					明褐色 にぶい黄褐色	D'	100	5	0	0	・上端境界の傾斜は62°、下端境界の傾斜は65°である。
					明褐色 にぶい黄褐色	CL'	100	4	0	0	●46.12～46.17m ・破砕部である。
					明褐色 にぶい黄褐色	D'	100	2	0	0	・主に淡黄色の固結礫状部からなる。 ・黒褐色の未固結粘土状部：累計幅1.00m ・走向・傾斜はN14° E79° Wである。
					明褐色 にぶい黄褐色	CL'	100	0	0	0	・上端境界の傾斜は31°、下端境界の傾斜は35°～70°である。

918, 919(分類A)① 変位センスについて、転記元の細分化カタログから転記したが、転記を誤ったもの。



柱状図(30.00m～60.00m)

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正後

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	記事
40				花崗斑岩	明褐灰	D'	100	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●47.40～47.51m ・破砕部である。</li> <li>・正断層センスである。</li> <li>・主に黄褐色の固結砂状部からなる。</li> <li>・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm</li> <li>・走向・傾斜はN21° E84° Eである。</li> <li>・上端境界の傾斜は58°、下端境界の傾斜は55°である。</li> <li>●49.17～49.22m ・破砕部である。</li> <li>・百すれ正断層センスである。</li> <li>・主に明黄褐色の固結礫状部及び固結砂状部からなる。</li> <li>・明黄褐色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm</li> <li>・走向・傾斜はN47° E45° Wである。</li> <li>・上端境界の傾斜は25°、下端境界の傾斜は23°である。</li> <li>●52.72～52.81m ・破砕部である。</li> <li>・右すれセンスである。</li> <li>・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。</li> <li>・灰白色の未固結粘土状部：累計幅1.0cm</li> <li>・走向・傾斜はN15° E82° Eである。</li> <li>・上端境界の傾斜は56°、下端境界の傾斜は14°である。</li> <li>●53.17～53.22m ・破砕部である。</li> <li>・正断層センスである。</li> <li>・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。</li> <li>・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm</li> <li>・走向・傾斜はN27° E64° Wである。</li> <li>・上端境界の傾斜は29°、下端境界の傾斜は27°である。</li> <li>●50.82～50.85m(0-1破砕帯) ・破砕部である。</li> <li>・正断層センスである。</li> <li>・主ににぶい褐色の固結礫状部からなる。</li> <li>・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.7cm</li> <li>・走向・傾斜はN26° E80° Wである。</li> <li>・上端境界の傾斜は22°、下端境界の傾斜は28°である。</li> <li>60.99～63.61m ・硬質であるが、割れ目が多い。</li> <li>63.61～64.00m ・砂礫状を呈する。</li> <li>64.33～66.07m ・硬質であるが、割れ目が多い。</li> <li>67.80～67.93m ・砂礫状を呈する。</li> <li>●69.70～69.73m ・破砕部である。</li> <li>・右すれセンスである。</li> <li>・主に灰黄色の固結礫状部からなる。</li> <li>・にぶい黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm</li> <li>・走向・傾斜はN25° E82° Eである。</li> <li>・上端境界の傾斜は55°、下端境界の傾斜は57°である。</li> </ul>	
						D'	100	3	0		
						D'	100	6	0		
						D'	100	14	14		
						D'	100	4	0		
						D'	100	4	0		
						D'	100	9	0		
						D'	100	7	0		
						D'	100	5	0		
						D'	100	4	0		
						D'	100	8	0		
						D'	100	4	0		
						D'	100	2	0		
						D'	100	1	0		
			D'	100	1	0					
			D'	100	1	0					
			D'	100	2	0					
			D'	100	1	0					
			D'	100	4	0					
			D'	100	6	0					
			D'	100	5	0					
			D'	100	0	0					
			D'	100	0	0					
			D'	100	2	0					
			D'	100	4	0					
			D'	100	3	0					
			D'	100	7	0					
			D'	100	5	0					
			D'	100	6	0					
			D'	100	5	0					
			D'	100	0	0					
			D'	100	0	0					
			D'	100	2	0					

920(分類A)①  
変位センスについて、転記元の細分化カタログから転記したが、転記を誤ったもの。

柱状図(60.00m～90.00m)

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正前

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	記事
						CL'	100	8	0		<p>73.35～73.38m ・幅25～40mmで締まった砂状を呈する。 ●74.36～74.50m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主ににぶい黄橙色の固結砂状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.7cm ・走向・傾斜はN15° E85° Wである。 ・上端境界の傾斜は27°、下端境界の傾斜は30°である。 ●75.57～76.00m ・破砕部である。 ・主に灰褐色の固結礫状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅1.2cm ・走向・傾斜はN34° E87° NWである。 ・上端境界の傾斜は25°、下端境界の傾斜は68°である。 ●78.72～78.87m ・破砕部である。 ・右すれセンスである。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部及び固結砂状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm ・走向・傾斜はN17° E71° Eである。 ・上端境界の傾斜は31°、下端境界の傾斜は60°である。 81.17m ・割れ目に砂及び褐色粘土を挟む。 82.51～82.62m ・攪混じり砂状を呈する。 82.94～84.92m ・硬質で、コアは短柱状～柱状を呈する。 ●85.38～85.41m(f-b-1(6破砕帯)) ・破砕部である。 ・にぶい黄橙色の固結礫状部及び灰黄褐色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN28° E86° Eである。 ・フイルム状の粘土を挟み、上端境界の傾斜は47°である。 87.20～87.51m ・締まった礫質砂状を呈する。 ・橙色の粘土脈を挟む。</p>
					CL'	100	10	10			
					CL'	100	10	10			
					CL'	100	16	16			
					CL'	100	10	10			
					CL'	100	3	0			
					CL'	100	10	10			
					CL'	100	9	0			
					CL'	100	12	12			
					CL'	100	9	0			
					CL'	100	6	0			
					CL'	100	8	0			
					CL'	100	6	0			
					CL'	100	7	0			
					CL'	100	6	0			
					CL'	100	5	0			
					CL'	100	5	0			
					CL'	100	6	0			
					CL'	100	10	20			
					CL'	100	16	47			
					CL'	100	8	0			
					CL'	100	10	10			
					CL'	100	4	0			
					CL'	100	4	0			
					CL'	100	6	0			

柱状図(60.00m～90.00m)

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正後

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	記 事
						CL'	100	8	0		<p>73.35～73.38m ・幅25～40mmで締まった砂状を呈する。 ●74.36～74.50m ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主ににぶい黄褐色の固結砂状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.7cm ・走向・傾斜はN15° E85° Wである。 ・上端境界の傾斜は27°、下端境界の傾斜は30°である。 ●75.57～76.00m ・破碎部である。 ・主に灰褐色の固結礫状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅1.2cm ・走向・傾斜はN34° E87° NWである。 ・上端境界の傾斜は25°、下端境界の傾斜は68°である。 ●78.72～78.87m ・破碎部である。 ① ・右ずれ正断層センスである。 ・主ににぶい黄褐色の固結礫状部及び固結砂状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm ・走向・傾斜はN17° E71° Eである。 ・上端境界の傾斜は31°、下端境界の傾斜は60°である。 81.17m ・割れ目に砂及び褐色粘土を挟む。 82.51～82.62m ・様混じり砂状を呈する。 82.94～84.92m ・硬質で、コアは短柱状～柱状を呈する。 ●85.38～85.41m(f-b-1-16破碎帯) ・破碎部である。 ・にぶい黄褐色の固結礫状部及び灰黄褐色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN28° E86° Eである。 ・フイルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は45°～50°、下端境界の傾斜は47°である。 87.20～87.51m ・締まった礫質砂状を呈する。 ・褐色の粘土脈を挟む。</p>
					GM'	100	13	0			
					GM'	100	10	10			
					D	100	10	10			
					D	100	16	16			
					GM'	100	10	10			
					CL'	100	9	0			
					D	100	9	0			
					GM'	100	9	0			
					D	100	12	12			
					GM'	100	3	0			
					D	100	10	10			
					CL'	100	6	0			
					D	100	9	0			
					GM'	100	6	0			
					D	100	8	0			
					GM'	100	6	0			
					D	100	3	0			
					D	100	4	0			
					D	100	5	0			
					D	100	5	0			
					D	100	7	0			
					CL'	100	6	0			
					GM'	100	5	0			
					D	100	6	0			
					GM'	100	10	20			
					GM'	100	16	47			
					GM'	100	8	0			
					GM'	100	10	10			
					GM'	100	4	0			
					GM'	100	4	0			
					GM'	100	6	0			

921 (分類A) ① 変位センスについて、転記元の細分化カタログから転記したが、転記を誤ったもの。

柱状図(90.00m～120.00m)

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正前

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	記事
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	7	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>94.07～94.88m ・アフライトである。</li> <li>94.88～140.00m ・花崗斑岩である。</li> <li>97.57～97.88m ・締まった土砂状を呈する。</li> <li>97.85m ・幅1～5mmの赤褐色の鉱物脈を挟む。</li> <li>97.88～102.35m ・硬質であるが、割れ目が多く、岩片状～短柱状を呈する。</li> <li>・割れ目沿いに一部砂状を呈する。</li> <li>102.35～107.40m ・硬質で、割れ目が少なく、柱状を呈する。</li> <li>・径2～5mmの暗緑色鉱物が点在する。</li> <li>108.24～110.43m ・硬質であるが、割れ目が多く、岩片状～柱状を呈する。</li> <li>●113.51～113.60m ・破砕部である。</li> <li>・右ずれセンスである。</li> <li>・主に灰褐色の固結礫状部及び固結砂状部からなる。</li> <li>・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm</li> <li>・走向・傾斜はN21° E69° Eである。</li> <li>・上端境界の傾斜は55°、下端境界の傾斜は63°である。</li> <li>・114.75～115.52m ・砂礫状を呈する。</li> <li>●118.94～119.12m (D-41破砕帯) ・破砕部である。</li> <li>・右ずれ正断層センスである。</li> <li>・主ににぶい黄褐色の固結礫状部からなる。</li> <li>・浅黄色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm</li> <li>・走向・傾斜はN29° E79° Eである。</li> <li>・上端境界の傾斜は32°、下端境界の傾斜は60°である。</li> </ul>
	-46.30	94.07	+	アフライト	暗緑灰	D	100	6	0		
	-46.87	94.88	+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	6	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	6	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CM'	100	10	10		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	6	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	6	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	10	10		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CM'	100	13	26		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CM'	100	12	12		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	6	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	6	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	6	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CM'	100	10	20		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	7	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	4	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	2	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	4	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CM'	100	4	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	2	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	2	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	4	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	4	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	D	100	3	0		
			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	5	0	</	



柱状図(35.00m~70.00m)

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正前

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	記 事
40				花崗斑岩	明褐色 D'	D'	100	5	0	0	●35.36~35.46m ・破砕部である。 ・右すれセンスである。 ・主に灰黄色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN69° E79° Nである。 ・上端境界の傾斜は47°、下端境界の傾斜は20°~35°である。 ●35.68~35.73m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に明褐色の固結礫状部からなる。 ・灰黄色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm ・走向・傾斜はN7° NS2° Wである。 ・上端境界の傾斜は27°、下端境界の傾斜は12°である。 ●35.92~35.95m ・破砕部である。 ・左すれ逆断層センスである。 ・灰白色の固結礫状部、固結砂状部及び灰オリーブ色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN4° E86° Eである。 ・上端境界の傾斜は35°、下端境界の傾斜は48°である。 41.90~43.94m ・砂状~砂礫状を呈する。 47.06~47.50m ・角礫状を呈する。 ●48.08~48.12m ・破砕部である。 ・右すれセンスである。 ・灰黄色の固結礫状部からなる。 ・黒褐色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm。 ・走向・傾斜はN38° W15° NEである。 ・上端境界の傾斜は56°、下端境界の傾斜は53°である。 51.51~52.42m ・割れ目沿いに砂状化し、一部砂礫状を呈する。 ●54.72~54.77m ・破砕部である。 ・左すれセンスである。 ・主に明褐色の固結礫状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm ・走向・傾斜はN8° W79° Wである。 ・上端境界の傾斜は48°、下端境界の傾斜は39°である。 57.70~57.99m ・纏まった砂状を呈する。 59.71~60.00m ・砂状~砂礫状を呈する。 ●60.26~60.69m ・破砕部である。 ・逆断層センスである。 ・にふい黄褐色の固結礫状部、固結砂状部及び明褐色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN18° E77° Wである。 ・上端境界の傾斜は28°、下端境界の傾斜は27°である。
					明褐色 D'	D'	100	7	0	0	●
					明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●
					明褐色 D'	D'	100	8	0	0	●
					明褐色 D'	D'	100	8	0	0	●
					明褐色 D'	D'	100	2	0	0	●
					明褐色 D'	D'	100	5	0	0	●
					明褐色 D'	D'	100	3	0	0	●
					明褐色 D'	D'	100	3	0	0	●
					明褐色 D'	D'	100	3	0	0	●
					明褐色 D'	D'	100	3	0	0	●
					明褐色 D'	D'	100	3	0	0	●
					明褐色 D'	D'	100	4	0	0	●
					明褐色 D'	D'	100	4	0	0	●
				明褐色 D'	D'	100	11	11	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	11	11	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	11	11	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	11	11	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	14	14	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	9	0	0	●	
				明褐色 D'	D'	100	10	10	0	●	

H27-B-2

柱状図(35.00m~70.00m)

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正後

標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率(%)	最大コア長(cm)	RQD (%)	コア採取率(%) 最大コア長(cm)	記事
60			花崗斑岩	にぶい 黄褐色	D	100	5	0	0	●35.36~35.46m ・破砕部である。 ・右ずれセグメントである。 主に灰黄色の固結礫状部からなる。 灰白色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm 走向・傾斜はN69° E79° Nである。 上端境界の傾斜は47°、下端境界の傾斜は20°~35°である。 ●35.68~35.73m ・破砕部である。 ・左断層セグメントである。 主に明褐色灰色の固結礫状部からなる。 灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm 走向・傾斜はN7° W52° Wである。 上端境界の傾斜は27°、下端境界の傾斜は12°である。 ●35.92~35.95m ・破砕部である。 ・右ずれ逆断層セグメントである。 灰白色の固結礫状部、固結砂状部及び灰白色の未固結粘土状部からなる。 走向・傾斜はN4° E86° Eである。 上端境界の傾斜は35°、下端境界の傾斜は45°である。 41.90~43.94m ・砂状~砂礫状を呈する。 47.06~47.50m ・角礫状を呈する。 ●48.08~48.12m ・破砕部である。 右ずれセグメントである。 灰黄褐色の固結礫状部からなる。 黒褐色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm。 走向・傾斜はN38° W15° NEである。 上端境界の傾斜は56°、下端境界の傾斜は53°である。 51.51~52.42m ・割れ目沿いに砂状化し、一部砂礫状を呈する。 ●54.72~54.77m ・破砕部である。 ・左ずれセグメントである。 主に明褐色灰色の固結礫状部からなる。 灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm 走向・傾斜はN8° W79° Wである。 上端境界の傾斜は48°、下端境界の傾斜は39°である。 57.70~57.99m ・縮まった砂状を呈する。 59.71~60.00m ・砂状~砂礫状を呈する。 ●60.26~60.69m ・破砕部である。 ●右ずれ逆断層セグメントである。 にぶい黄褐色の固結礫状部、固結砂状部及び明褐色灰色の固結粘土状部からなる。 走向・傾斜はN18° E77° Wである。 上端境界の傾斜は28°、下端境界の傾斜は27°である。
			にぶい 黄褐色	D	100	7	0	0	0	
			にぶい 黄褐色	CL	100	10	10	0	0	0
			にぶい 黄褐色	CL	100	8	0	0	0	0
			にぶい 黄褐色	D	100	8	0	0	0	0
			にぶい 黄褐色	D	100	2	0	0	0	0
			にぶい 黄褐色	CL	100	3	0	0	0	0
			にぶい 黄褐色	D	100	3	0	0	0	0
			にぶい 黄褐色	CL	100	5	0	0	0	0
			にぶい 黄褐色	CL	100	3	0	0	0	0
			にぶい 黄褐色	D	100	3	0	0	0	0
			にぶい 黄褐色	CL	100	3	0	0	0	0
			にぶい 黄褐色	D	100	11	11	0	0	0
			にぶい 黄褐色	CL	100	4	0	0	0	0
			にぶい 黄褐色	D	100	4	0	0	0	0
			にぶい 黄褐色	CL	100	3	0	0	0	0
			にぶい 黄褐色	D	100	2	0	0	0	0
			にぶい 黄褐色	CL	100	3	0	0	0	0
			にぶい 黄褐色	D	100	9	0	0	0	0
			にぶい 黄褐色	CL	100	3	0	0	0	0
		にぶい 黄褐色	D	100	3	0	0	0	0	
		にぶい 黄褐色	CL	100	2	0	0	0	0	
		にぶい 黄褐色	D	100	4	0	0	0	0	
		にぶい 黄褐色	CL	100	2	0	0	0	0	
		にぶい 黄褐色	D	100	4	0	0	0	0	
		にぶい 黄褐色	CL	100	2	0	0	0	0	
		にぶい 黄褐色	D	100	2	0	0	0	0	
		にぶい 黄褐色	CL	100	18	34	0	0	0	
		にぶい 黄褐色	D	100	17	17	0	0	0	
		にぶい 黄褐色	CL	100	6	0	0	0	0	
		にぶい 黄褐色	D	100	15	15	0	0	0	
		にぶい 黄褐色	CL	100	4	0	0	0	0	
		にぶい 黄褐色	D	100	10	10	0	0	0	

923(分類A)①  
変位セグメントについて、転記元の細分化カタログから転記したが、転記を誤ったもの。









H24-B11-1

柱状図(70.00m~105.00m)

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正前

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率(%)	最大コア長(cm)	RQD (%)	コア採取率(%) 最大コア長(cm)	記事	
100			[Pattern: Asterisks]	アフライト	明褐灰	CW'	100	24	63		<p>72.39~72.63m ・変質している。 ・浅黄褐色のシルト混じり砂礫状を呈する。 73.51~74.70m ・硬質で割れ目が少なく、長柱状を呈する。</p> <p>80.74~83.23m ・硬質で割れ目が少なく、柱状を呈する。</p> <p>83.85m ・傾斜45°、幅5mmの石英脈を挟む。</p> <p>87.52~88.93m ・割れ目が多く、岩片状を呈する。 ●88.93~88.97m(D-5破砕帯) ・破砕部である。 ・右ずれ正断層ゼンスである。 ・主に淡黄色の固結礫状部からなる。 ・淡黄色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm ・走向・傾斜はN4°E72°Wである。 ・上端境界の傾斜は53°、下端境界の傾斜は50°である。</p> <p>94.97~95.45m ・割れ目が多く、岩片状を呈する。 95.87~96.05m ・変質して軟質化している。 ・割れ目が多く、岩片状を呈する。 ●97.87~99.00m ・破砕部である。 ・左ずれ正断層である。 ・主に浅黄褐色の固結礫状部からなる。 ・黄褐色の未固結粘土状部：累計幅2.5cm ・走向・傾斜はN4°E72°Wである。 ・下端境界の傾斜は60°である。 99.64~100.46m ・傾斜45°程度の割れ目が多く、岩片状を呈する。 103.32~104.86m ・縦方向の連続する割れ目と、これに斜交する割れ目が分布する。</p>	
						CL'	100	21	54			
						明褐灰に多い黄褐色	CL'	100	28			58
						明褐灰	CW'	100	22			91
						明褐灰	CH'	100	31			89
						明褐灰	CW'	100	30			68
						明褐灰	CL'	100	27			86
						明褐灰	CW'	100	8			0
						明褐灰	CW'	100	24			24
						明褐灰	CW'	100	19			92
						明褐灰	CW'	100	27			81
						明褐灰	CL'	100	42			89
						明褐灰	CW'	100	24			49
						明褐灰	CL'	100	7			0
明褐灰	CW'	100	9	0								
明褐灰	CL'	100	14	14								
明褐灰	CW'	100	8	0								
明褐灰	CL'	100	42	0								
明褐灰	CW'	100	20	31								
明褐灰	CL'	100	18	67								
明褐灰	CW'	100	13	23								
明褐灰	CL'	100	19	19								
明褐灰	CL'	100	15	28								
明褐灰	CL'	100	10	20								
明褐灰	CL'	100	11	11								
明褐灰	CL'	100	10	10								
明褐灰	D'	100	25	35								
明褐灰	D'	100	0	0								
明褐灰	CL'	100	9	0								
明褐灰	CW'	100	17	27								
明褐灰	CL'	100	13	23								
明褐灰	CW'	100	40	82								
明褐灰	CL'	100	19	51								
明褐灰	CL'	100	10	10								

H24—B11—1

柱状図(70.00m～105.00m)

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正後

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率(%)	最大コア長(cm)	RQD (%)	コア採取率(%) 最大コア長(cm)	記 事
100			[パターン]	アグライト	明褐灰	GM'	100	24	63		72.39～72.63m ・変質している。 ・浅黄褐色のシルト混じり砂礫状を呈する。 73.51～74.70m ・硬質で割れ目が少なく、長柱状を呈する。
						CL'	100	21	54		
						GM'	100	28	58		
						GM'	100	22	91		
						GM'	100	31	89		
						GM'	100	30	68		
						GM'	100	27	86		
						CL'	100	14	54		
						GM'	100	8	0		
						GM'	100	24	24		
						GM'	100	19	92		
						90			[パターン]		
GM'	100	42	89								
GM'	100	24	49								
CL'	100	7	0								
GM'	100	9	0								
GM'	100	14	14								
GM'	100	8	0								
GM'	100	42	0								
GM'	100	20	31								
GM'	100	18	67								
GM'	100	13	23								
GM'	100	19	19								
80			[パターン]	アグライト	明褐灰	CL'	100	15	28	87.52～88.93m ・割れ目が多く、岩片状を呈する。 88.93～88.97m(D-5破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に淡黄色の固結礫状部からなる。 ・淡黄色の未固結粘土状部：果計幅0.3cm ・走向・傾斜はN4° E81° Wである。 ・上端境界の傾斜は53°、下端境界の傾斜は50°である。	
						GM'	100	11	11		
						GM'	100	10	10		
						GM'	100	25	35		
						GM'	100	0	0		
						GM'	100	9	0		
						GM'	100	17	27		
						GM'	100	13	23		
						GM'	100	40	82		
						GM'	100	19	51		
						GM'	100	10	10		
						70			[パターン]		アグライト

927(分類A)①  
変位センスについて、転記元の細分化カタログから転記したが、転記を誤ったもの。



H27-Br-1

柱状図(0.00m~35.00m)

H27-Br-1

孔口標高	T.P. 94.37m	掘削長	130.00m
------	-------------	-----	---------

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正後

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	記事																							
30	0.00	0.00	[Pattern: 黒塗り有機質シルト]	黒塗り有機質シルト	にがい黄褐色	D'	100	3	0	0	0.00~0.16m ・ 黒塗り有機質シルトである。 ・ 0.16~106.11m ・ アアライトである。 ・ 0.16~2.80m ・ 割れ目に木根が多く混入している。 ・ 3.58~4.81m ・ 変質により、石英粒(径2~8mm)を残して粘土化している。 ・ 割れ目が不明瞭である。 ・ 4.47~9.63m ・ 割れ目に灰白~褐色粘土を挟む。																							
												10	10.00	10.00	[Pattern: 明黄褐色]	明黄褐色	CL'	100	5	0	0	11.42~11.58m ・ 割れ目が多く、砂~岩片状を呈する。 ・ 幅1~2mmの一部に褐色粘土を挟む。												
																							10	10.00	10.00	[Pattern: 灰白]	灰白	GM'	100	11	11	0	0	15.51~15.74m ・ 高角度の割れ目が密に発達する。 ・ 15.53~15.69m ・ 割れ目が多く、砂状~礫状を呈する。
												20	20.00	20.00	[Pattern: 灰白]	灰白	GM'	100	13	13	26	0	27.72~28.76m ・ 高角度の割れ目が発達する。 ・ 28.97~29.74m ・ 不規則な割れ目が発達する。											
																								20	20.00	20.00	[Pattern: 明黄褐色]	明黄褐色	CL'	100	4	0	0	30.57~31.25m ・ 高角度の割れ目が発達する。 ・ 31.36~31.80m ・ 中角度の割れ目が発達する。

928(分類E)①  
適切な助詞ではなかった。

柱状図(0.00m~30.00m)

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正前

H20-④-2

孔口標高	T.P.	53.10m	掘削長	100.00m
------	------	--------	-----	---------

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率(%)	最大コア長(cm)	RQD(%)	コア採取率(%) 最大コア長(cm)	記 事
	52.31	1.26	砂質シルト	砂質シルト	広赤褐		100	0	0	0	0.00~0.06m ・植物根を多く含む。 0.06~1.12m ・砂質シルトである。 ・灰黄褐色を呈する。 1.12~1.60m ・シルト質砂である。 径2cm程度の花崗岩類の礫を含む。 1.60~12.11m ・アフライトである。 1.60~16.68m ・強風化部である。 5.23~5.30m ・変質している。 角礫状を呈する。 6.00~6.12m(f-④-2-1破砕帯) ・破砕部である。 淡赤褐色の固結粘土状部からなる。 走向・傾斜はN86°W42°Sである。 幅100mmの粘土を挟在する。 下端境界の傾斜は11°である。 6.90~8.90m(D-20破砕帯) ・破砕部である。 ・主ににぶい黄褐色の固結塊状部及び固結粘土状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅2.0cm ・上端境界の傾斜は67°である。 9.12~9.25m ・花崗斑岩である。 9.73~9.84m ・変質している。 9.74~10.43m ・花崗斑岩である。 ・アフライトとの境界は漸移的である。 12.11~16.58m ・花崗斑岩である。 14.63~14.66m(f-④-1-2破砕帯) ・破砕部である。 ・灰白色の固結塊状部からなる。 幅20mmの粘土を挟在する。 16.58~19.00m ・アフライトである。 18.72~18.95m ・幅0.5~10mmの石英脈を多数挟む。 19.00~31.12m ・花崗斑岩主体である。 ・アフライトとの境界は漸移的である。 19.92~20.00m ・幅1~10mm程度の石英脈を多数挟む。 20.15~20.42m, 21.90~22.50m, 23.30~23.85m, 24.39~25.15m, 26.42~26.85m, 27.63~28.40m, 30.10~31.12m ・アフライトである。 20.70m ・幅5mmの石英脈を挟む。 21.05~21.65m ・変質している。 ・微細な割れ目が発達し、灰白色粘土を伴う。 21.88m ・幅3mmの石英脈を挟む。 23.10m ・幅5~10mmの石英脈を挟む。 23.92m ・幅5mm程度の石英脈を挟む。 25.51~25.56m ・変質している。 ・軟質化している。 26.00~26.23m ・変質している。 ・褐色を呈し、軟質化している。 29.72~29.81m ・変質している。 ・土砂状を呈する。
	51.97	1.60	シルト質砂	シルト質砂	赤褐		100	0	0	0	
	46.65	9.12	花崗斑岩	花崗斑岩	にぶい黄橙	D'	100	0	0	0	
	46.24	9.17	アフライト	アフライト	にぶい黄橙	D'	100	0	0	0	
	45.77	10.43	花崗斑岩	花崗斑岩	にぶい黄橙	D'	100	0	0	0	
	44.54	12.11	アフライト	アフライト	にぶい黄橙	D'	100	0	0	0	
	41.38	16.58	アフライト	アフライト	灰白	D'	100	0	0	0	
	39.66	19.00	花崗斑岩	花崗斑岩	浅黄	GM'	100	13	25	13	
	38.85	20.15	アフライト	アフライト	浅黄	GM'	100	20	50	20	
	37.19	22.50	アフライト	アフライト	浅黄	GM'	100	14	39	14	
	36.67	23.30	花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	17	53	17	
	36.24	23.89	アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	17	53	17	
	35.89	24.39	花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	19	19	19	
	35.37	25.15	アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	19	19	19	
	34.47	26.42	花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	16	16	16	
	34.11	26.85	アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	16	16	16	
	33.58	27.63	花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
	32.98	28.46	アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	GM'	100	23	67	23	
			アフライト	アフライト	灰黄	GM'	100	23	67	23	

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-④-2

孔口標高	T.P.	掘削長
	53.10m	100.00m

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正後

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	記 事
	52.31	1.12	砂質シルト	灰黄緑			100	0	0	0	0.00~0.00m ・植物根を多く含む。 ・0.06~1.12m ・砂質シルトである。 ・灰黄褐色を呈する。 ・1.12~1.60m ・シルト質砂である。 ・径2cm程度の花崗岩類の礫を含む。 ・1.60~12.11m ・アラナイトである。 ・1.60~16.68m ・強風化部である。 ・5.23~5.30m ・要質している。 ・角礫状を呈する。
	51.97	1.60	明赤褐 赤褐 橙	明赤褐 赤褐 橙			100	0	0	0	・6.00~6.12m(④-2-1破砕帯) ・破砕部である。 ・走向・傾斜はN86°W42°Sである。 ・幅100mmの粘土を挟在する。 ・下端境界の傾斜は11°である。
	46.65	9.12	花崗斑岩	にぶい黄橙 黄橙 橙	D'	100	0	0	0	0	・破砕部である。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部及び固結粘土状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅2.0cm ・上端境界の傾斜は67°である。 ・9.12~9.25m ・花崗斑岩である。 ・9.73~9.84m ・要質している。 ・9.74~10.43m ・花崗斑岩である。 ・アラナイトとの境界は漸移的である。 ・12.11~16.58m ・花崗斑岩である。 ・●14.63~14.60m(④-1-2破砕帯) ・破砕部である。 ・主に灰白色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅2.0cm ・16.58~19.00m ・アラナイトである。 ・18.72~18.95m ・幅0.5~10mmの石英脈を多数挟む。 ・19.00~31.12m ・花崗斑岩主体である。 ・アラナイトとの境界は漸移的である。 ・19.92~20.00m ・幅1~10mm程度の石英脈を多数挟む。 ・20.15~20.42m, 21.90~22.50m, ・23.30~23.85m, 24.39~25.15m, ・26.42~26.85m, 27.63~28.40m, ・30.10~31.12m ・アラナイトである。 ・20.70m ・幅5mmの石英脈を挟む。 ・21.05~21.65m ・要質している。 ・微細な割れ目が発達し、灰白色粘土を伴う。
	45.72	10.43	花崗斑岩	にぶい黄橙	D'	100	0	0	0	0	・21.88m ・幅3mmの石英脈を挟む。 ・23.10m ・幅5~10mmの石英脈を挟む。 ・23.92m ・幅5mm程度の石英脈を挟む。 ・25.51~25.56m ・要質している。 ・軟質化している。 ・26.00~26.23m ・要質している。 ・褐色を呈し、軟質化している。 ・29.72~29.81m ・要質している。 ・土砂状を呈する。
	44.54	12.11	花崗斑岩	灰白	D'	100	0	0	0	0	
	41.38	16.58	アラナイト	浅黄	CL'	100	13	25	57	0	
	39.66	19.00	アラナイト	浅黄	CL'	100	13	25	57	0	
	38.85	20.15	花崗斑岩	黄緑	CH'	100	17	44	44	19	
	37.61	21.90	花崗斑岩	黄緑	CH'	100	19	19	19	19	
	37.19	22.50	花崗斑岩	黄緑	CL'	100	16	16	16	16	
	36.67	23.30	花崗斑岩	黄緑	CM'	100	13	33	33	33	
	36.24	23.85	アラナイト	黄緑	CM'	100	11	11	11	11	
	35.88	24.39	花崗斑岩	黄緑	CM'	100	15	40	40	40	
	35.32	25.15	アラナイト	黄緑	CL'	100	16	26	26	26	
	34.42	26.42	花崗斑岩	黄緑	CL'	100	23	67	67	67	
	34.11	26.85	アラナイト	黄緑	CM'	100	23	67	67	67	
	33.56	27.63	花崗斑岩	黄緑	CM'	100	23	55	55	55	
	32.98	28.40	アラナイト	黄緑	CM'	100	13	13	13	13	

929(分類A)①  
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断面がウジの有無について、保守的に修正した結果を柱状図の記事に反映していません。

コア写真(20.00m~30.00m)

# 0m~20mまで ノックコア

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正前



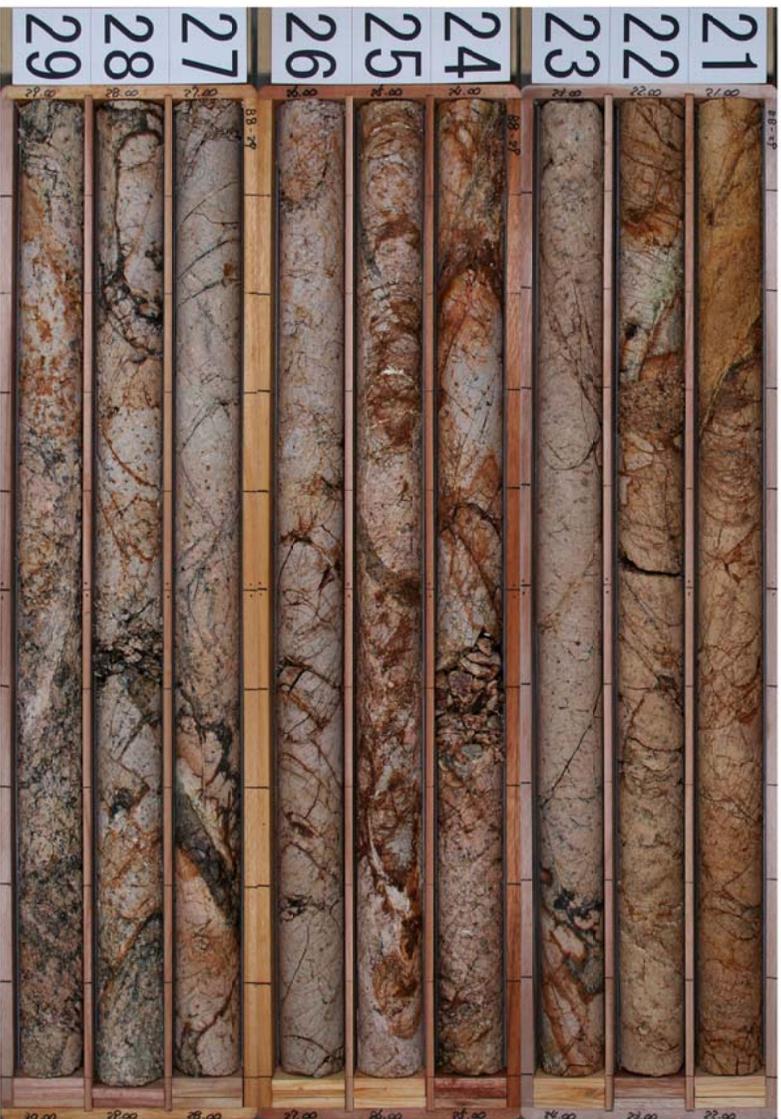
H24-B8-29

①

コア写真(21.00m~30.00m)

930, 931(分類E)①  
ノシコア区間を動違いしたものを。①  
0m~21mまで

ノシコア

第657回審査会合  
机上配付資料3 修正後

余白